

令和6年度 大台ヶ原の利用に関する協議会
議事次第

日時：令和6年2月12日（水）14：00～16：00

場所：奈良県社会福祉総合センター 中会議室

1 開会

2 議事

- (1) 大台ヶ原の利用動向等に係る報告
- (2) 令和6年度事業実施結果報告（構成機関からの取組報告含む）
- (3) 令和7年度西大台利用調整地区の運用計画について【協議】
- (4) 大台ヶ原登録ガイド限定プログラムについて
- (5) 吉野熊野国立公園西大台利用調整地区利用適正化計画の改訂について
- (6) 大台ヶ原周回線道路（歩道）の改修について【報告】
- (7) その他

3 閉会

<配付資料>

- ・ 議事次第
- ・ 出席者名簿
- ・ 資料1－1 大台ヶ原の利用動向に関する調査結果
- ・ 資料1－2 西大台利用調整地区の利用者意識に関する調査結果
- ・ 資料1－3 大台ヶ原における適正利用推進上の課題
- ・ 資料2 令和6年度事業実施結果報告（持続可能な利用の推進）
- ・ 資料3 令和7年度西大台利用調整地区の運用計画（案）
- ・ 資料4－1 令和7年度登録ガイド限定プログラム運用計画（案）
- ・ 資料4－2 大台ヶ原登録ガイド限定プログラムの本格運用に向けたスケジュール案
- ・ 資料5－1 吉野熊野国立公園西大台地区利用適正化計画改訂について
- ・ 資料5－2 吉野熊野国立公園西大台地区適正化計画 改訂の方針について
- ・ 資料6 大台ヶ原周回線道路（歩道）の改修方針と今後の進め方について
- ・ 参考資料1 令和6年度大杉谷登山道の利用状況等について（大台町）
- ・ 参考資料2 令和6年度大台ヶ原登録ガイド限定プログラム試行ツアー報告
- ・ 参考資料3 令和7年度利用調整カレンダー
- ・ 参考資料4 令和6年度大台ヶ原登録ガイド限定プログラム現地説明会報告
- ・ 参考資料5 平成25年度西大台地区利用適正化計画
- ・ 参考資料6 大台ヶ原におけるツキノワグマへの出没状況等について

大台ヶ原の利用に関する調査

1. 大台ヶ原の利用動向の取りまとめ及び分析

大台ヶ原山上駐車場における正午時点の入込み車両数のデータや、西大台利用調整地区の認定者数等のデータを用いて、大台ヶ原の利用動向について取りまとめるとともに、その増減等の要因について分析した。

1-1. 大台ヶ原の利用動向

(1) 大台ヶ原の利用者数の推移

- ・令和6年度の大台ヶ原の利用者数は67,082人となり、昨年度の74,815人と比べて7,733人(10.3%)減少した。
- ・平成10年度から26年間の推移をみると、平成23年度までは減少傾向で推移していたが、平成24年度から微増に転じ、平成27年度には107,296人となった。その後、令和元年度までは再び減少傾向となった。令和2年度から令和5年度はほぼ横ばいであったが、令和6年度は天候等の影響により減少に転じている。
- ・令和2年度以降の新型コロナウイルス感染症による移動制限の影響で、全国の国立公園では大幅に利用者数が減少しているが、大台ヶ原では近場の訪問に対する需要の高まりや関西の都心部から日帰り圏内にあることなどから、その影響を受けなかったと考えられる。

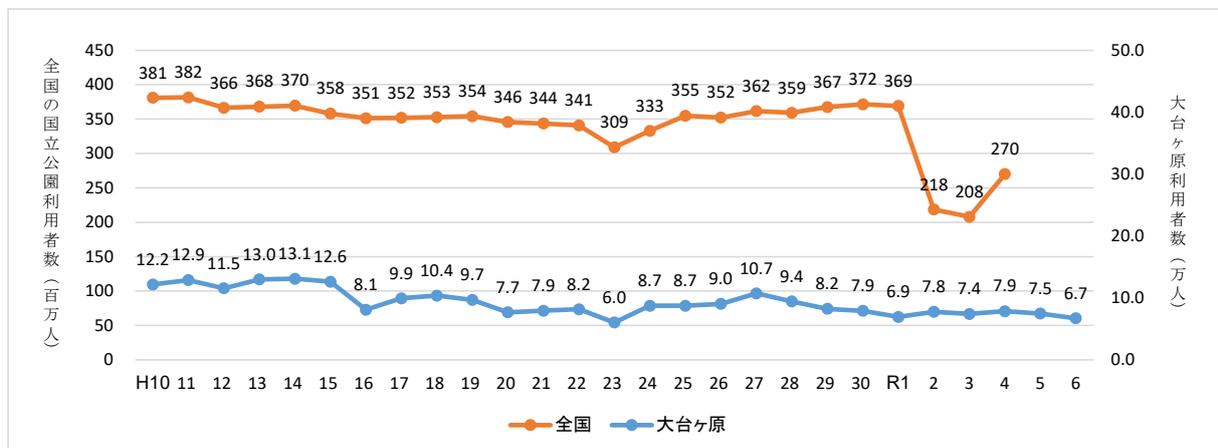


図 1-1 全国の国立公園と大台ヶ原の利用者数の推移

※大台ヶ原の利用者数は、正午時点の山上駐車場の駐車台数を基に、以下の推計式で推計したものである。
 大台ヶ原の利用者数＝観光バス台数×22人＋乗用車台数×2.2人×2回転＋二輪車台数×1.1人

(2) 大台ヶ原の月別利用者数

- ・令和6年度の大台ヶ原の月別利用者数は、5月(12,101人)が最も多く、次いで10月(10,663人)、8月(9,976人)が多かった。令和6年度は令和5年度と比較して5月、7月、9月、10月で減少している。
- ・令和6年4～6月は、国道169号線で発生した崩土事故の影響で下北山村の一部区間が通行止め(6月28日に解除)となり、「奈良県3村応援旅行割」が実施(5月24日～8月31日)された。地域へのヒアリングから、この期間の周辺市町村の観光施設の入込客数が大幅に減少したが、大台ヶ原の利用者数は平年とあまり変わらず、通行止めの影響をあまり受けていない。
- ・令和6年7月は、大台ヶ原ドライブウェイの一部区間が崖崩れと法面崩落の影響で通行止め(7月12日～25日)となり、迂回路はバスの通行ができなかったことから、利用状況に対して多少の影響があったと考えられる。
- ・過去5ヶ年の平均をみると、利用者数は10月、5月、8月、11月の順に多くなっており、令和6年度は10月が激減した。令和6年度は10月の天気が悪かったことや平年より紅葉の見ごろが遅かったことが影響したと考えられる。
- ・令和2年度¹は、緊急事態宣言やGO TO トラベルキャンペーンの影響により、月によって利用者数の傾向が異なっている。

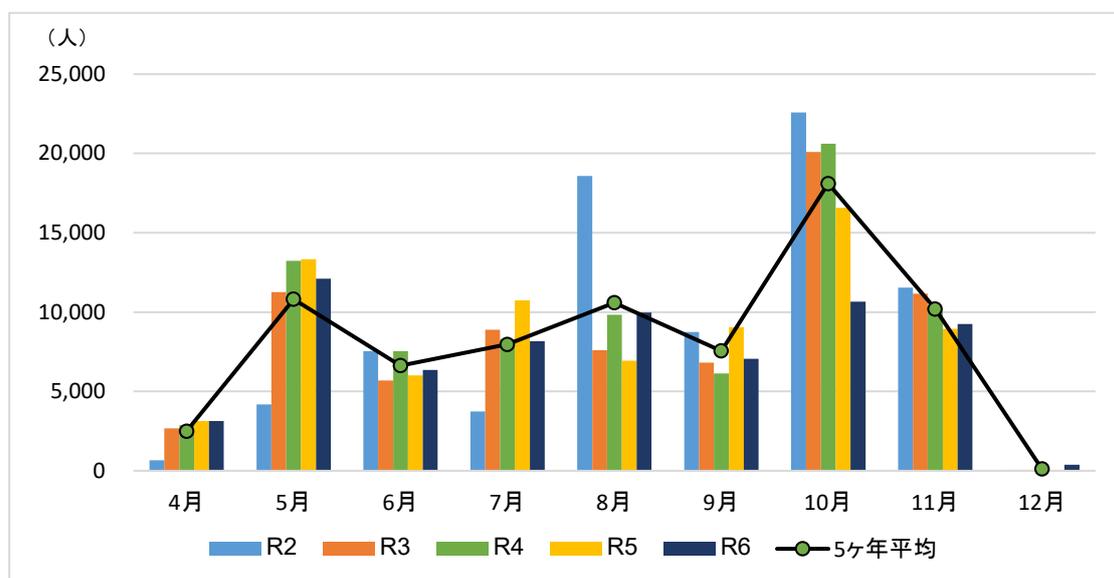


図1-2 大台ヶ原の月別利用者数の推移

※令和6年度の大台ヶ原の開山期間は、2024年4月20日～12月2日まで

¹ 令和2年度は、4月から5月にかけて各地で緊急事態宣言が出されるとともに、8月以降はGO TO トラベルキャンペーンが行われた。

(3) 大台ヶ原の平日・休日別利用者数割合

- ・令和6年度の平日・休日別利用者数の割合は、平日が41.5%、休日が58.5%であった。
- ・令和6年度も平日の割合が4割を超えており、新型コロナウイルス感染症の拡大前の令和元年度と比べて、やや高い割合となっている。

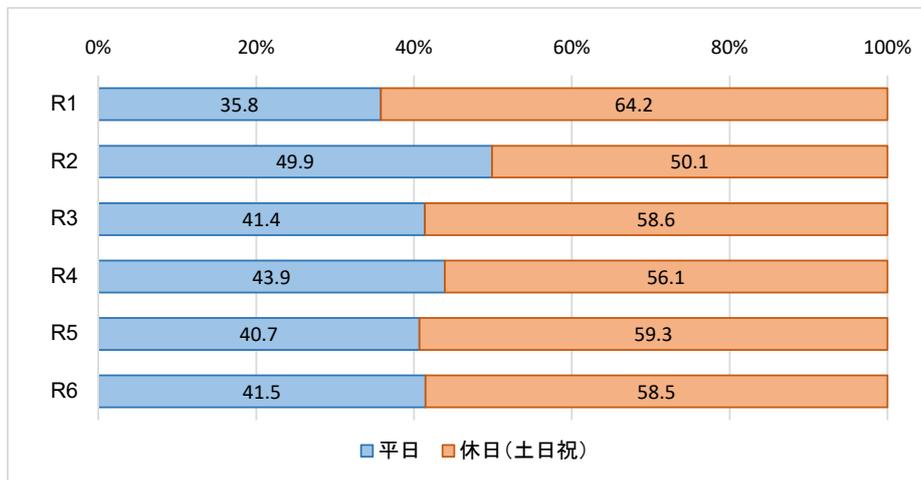


図1-3 大台ヶ原の平日・休日別入山者数割合の推移

(4) 山上駐車場の駐車台数の推移

- 令和6年度の山上駐車場の駐車台数は、総数が15,792台、うちバスが129台、自動車が14,247台、二輪車が1,416台であった。
- 二輪車と自動車の駐車台数は、平成27年度をピークとして減少傾向にあり、新型コロナウイルス感染症による移動制限が行われた令和2年度に一旦増加したものの、令和4年度以降は徐々に減少している。
- バスの駐車台数は、令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響により大きく減少し、令和4年度から徐々に増加していたが、令和6年度は減少した。その要因として、大台ヶ原ドライブウェイの一部区間の通行止めにより、バスの通行ができなかったことのほか、地域へのヒアリングからツアーバスの利用が減少していることが挙げられている。

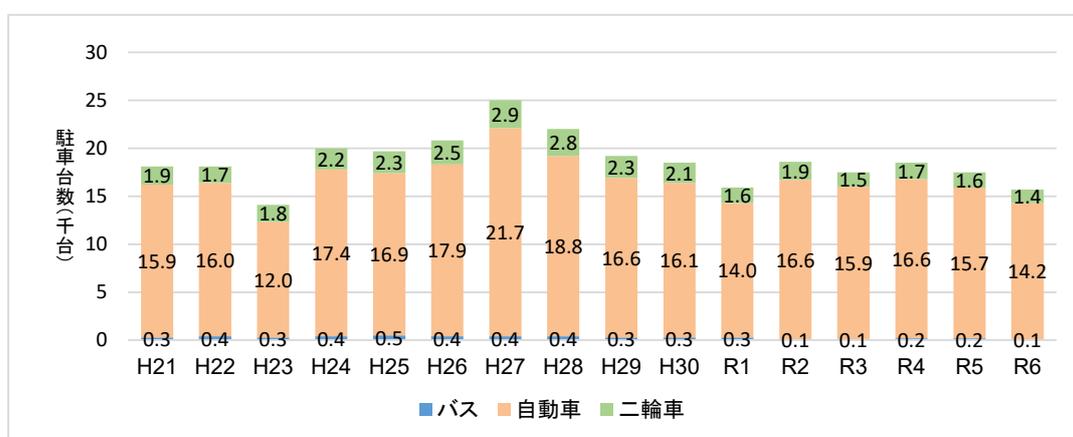


図1-4-1 山上駐車場駐車台数の推移

※各年度の駐車台数は、各日の正午時点の山上駐車場の駐車台数の合計

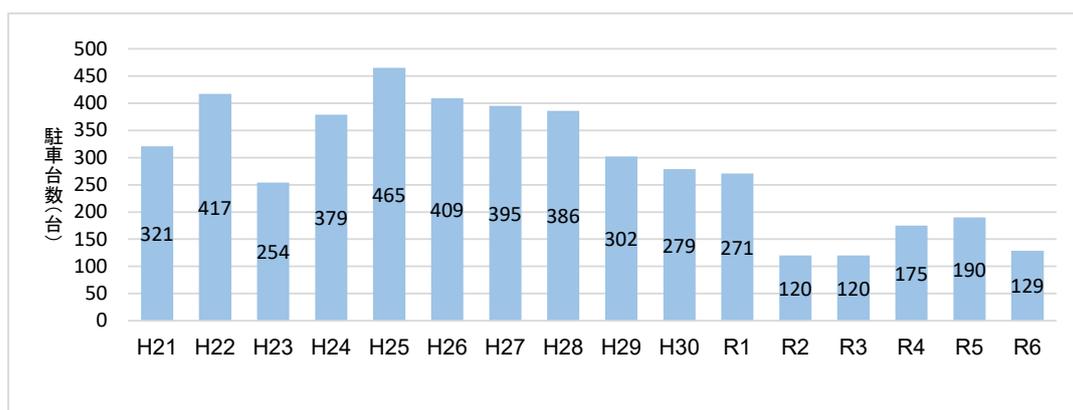


図1-4-2 山上駐車場バス駐車台数の推移

(5) 路肩駐車の発生状況

1) 路肩駐車発生日数の推移

- ・令和6年度に大台ヶ原ドライブウェイにおいて路肩駐車が発生した日数は13日間で、そのうち100台以上発生した日数は3日間、100台未満は10日間であった。
- ・路肩駐車の発生日数は、平成29年度以降は横ばいで推移し、令和4年度は一旦増加に転じたが、令和5年度は大幅に減少、令和6年度は若干増加した。

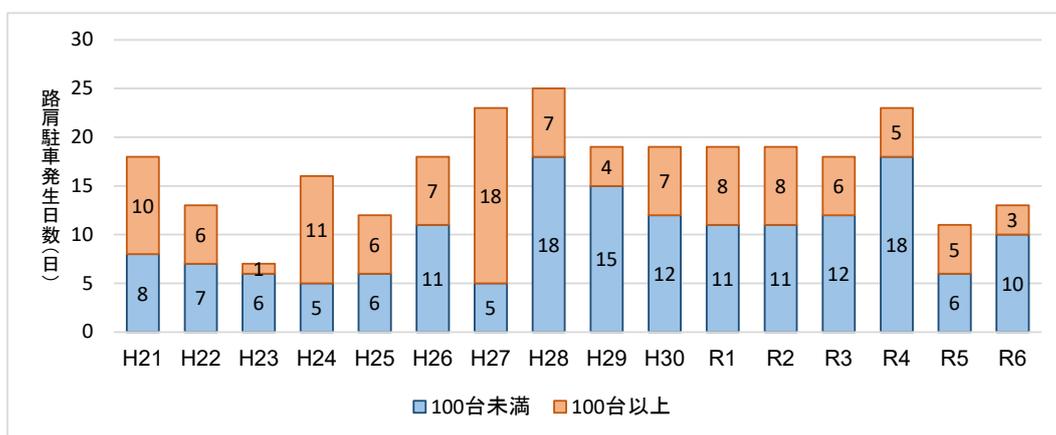


図1-5 路肩駐車発生日数の推移

2) 路肩駐車の発生日数と発生台数の推移

- ・路肩駐車台数は、令和2年度から徐々に減少傾向にあり、令和6年度は817台と令和2年度と比べて4割程度となっている。

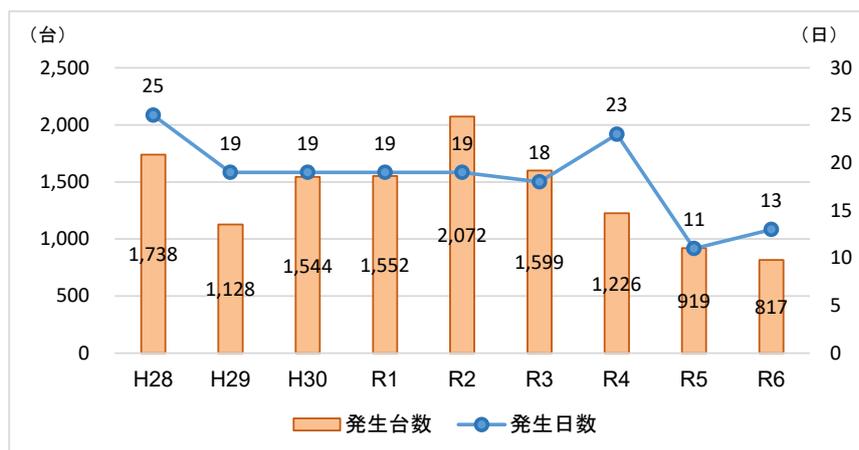


図1-6 路肩駐車の発生日数と発生台数の推移

3) 路肩駐車の発生日と発生台数

- ・令和6年度における路肩駐車の発生日及び発生台数は、下図の通りであり、ゴールデンウィークと紅葉シーズンの休日に、100台以上の大規模な路肩駐車が発生した。

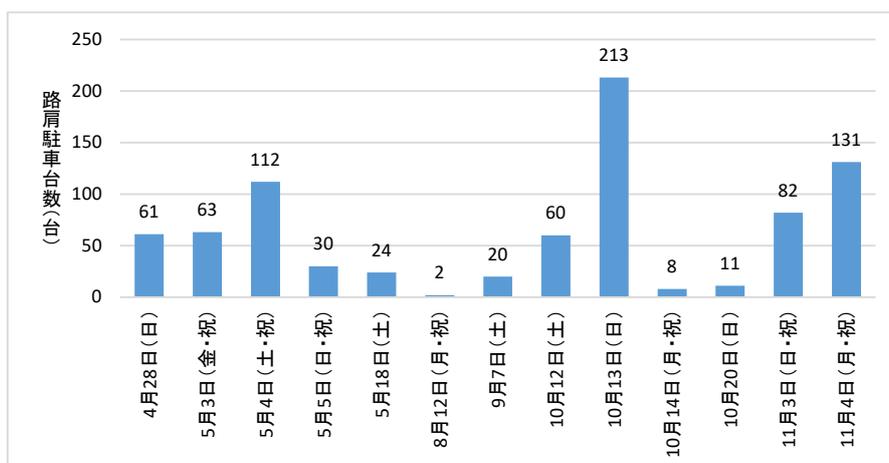


図1-7 令和6年度の路肩駐車の発生日と発生台数

(6) 公共交通の利用状況

- ・大台ヶ原山上までのバスは、令和4年度よりバスの発着地が変更され、大和上市駅が廃止、イオンモール橿原、近鉄・大和八木駅、近鉄・橿原神宮前駅東口の3ヶ所が停留所として追加された。
- ・令和6年度のイオンモール橿原・大台ヶ原間の路線バスの乗車人数は延べ4,723人で、昨年度より910人(16.2%)減少した。
- ・令和4年度は、発着地の変更により利便性が向上したことや、新型コロナによる影響が緩和されつつあることなどが影響して増加し、令和5年度も微増したが、令和6年度は減少に転じた。大台ヶ原ドライブウェイの一部区間の通行止めにより、バスの通行ができなかったことが影響していると考えられる。

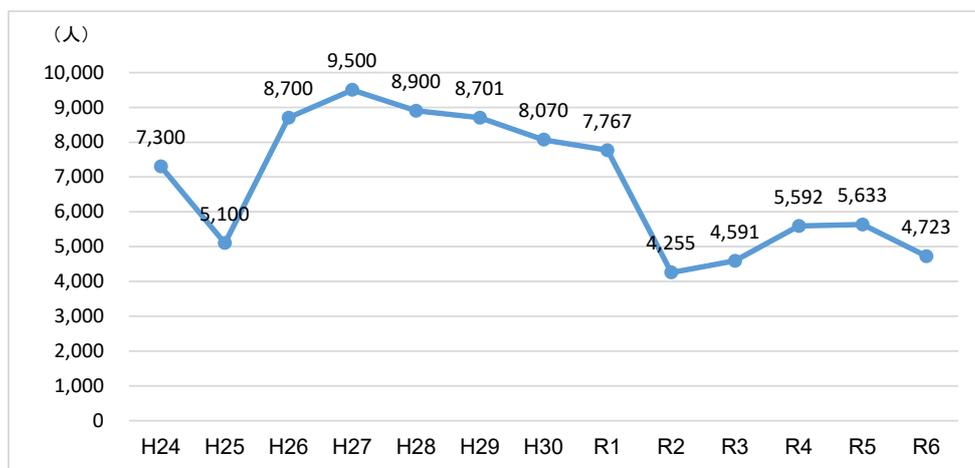


図1-8 路線バスの乗車人数の推移

※奈良交通株式会社吉野営業所・葛城営業所提供の資料(乗車人数)を基に作成した。
 なお、平成25年度は売上金額からの推計値である。

1-2. 西大台利用調整地区の利用動向

(1) 西大台利用調整地区の認定者数及び入山者数

- ・令和6年度の認定者数は1,956人で、前年度の2,631人と比較して675人(27.4%)減少した。
- ・認定者のうち入山をキャンセルした人を除く入山者数は1,770人で、前年度の2,365人と比較して595人(26.3%)減少した。
- ・認定者数・入山者数ともに、平成28年度をピークとして近年は減少傾向にあり、令和6年度に大きく減少した。
- ・認定者数に対する入山者数の割合は、令和4年度以降は9割前後で推移している。
- ・また、令和5年度から導入した手数料のオンライン決済については、全認定者数1,956人のうち821人がオンライン決済を活用した(数値は上北山村商工会より)。

表1-1 西大台利用調整地区の認定者数の推移

月	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
4	60	109	74	125	193	164	195	0	66	127	90	93
5	636	756	934	696	714	580	532	61	358	462	447	379
6	251	309	236	309	273	203	242	213	177	206	291	212
7	262	270	289	402	277	190	187	244	333	307	338	283
8	370	367	320	417	328	273	212	470	227	285	231	224
9	294	262	395	280	246	212	207	341	208	140	315	154
10	915	871	870	975	886	807	770	927	738	702	653	392
11	366	286	377	337	384	324	437	469	339	238	266	219
合計	3,154	3,230	3,495	3,541	3,301	2,753	2,782	2,725	2,446	2,467	2,631	1,956

表1-2 西大台利用調整地区の入山者数の推移

月	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
4	58	96	72	120	182	157	181	0	65	109	88	79
5	591	699	851	639	687	533	500	60	323	414	411	362
6	230	278	216	288	261	169	227	206	167	204	235	201
7	250	230	230	363	268	158	161	210	322	286	321	245
8	340	300	303	400	310	227	180	450	178	258	170	213
9	199	234	368	216	223	169	172	307	187	115	297	144
10	714	711	834	903	632	771	620	875	706	649	618	336
11	315	237	343	314	358	305	412	442	328	230	225	190
合計	2,697	2,785	3,217	3,243	2,921	2,489	2,453	2,550	2,276	2,265	2,365	1,770
認定者数に対する割合(%)	85.5	86.2	92.0	91.6	88.5	90.4	88.2	93.6	93.0	91.8	89.9	90.5

(2) 西大台利用調整地区の月別認定者数及び入山者数

- ・令和6年度の月別の認定者数は10月(392人)が最も多く、次いで5月(379人)、7月(283人)の順で多かった。
- ・一方、入山者数は5月(362人)が最も多く、次いで10月(336人)、7月(245人)の順で多かった。
- ・令和6年度は、認定者数・入山者数ともに5月を除いて過去5ヶ年の平均より少ない。特に、9月、10月の人数が大きく減少している。

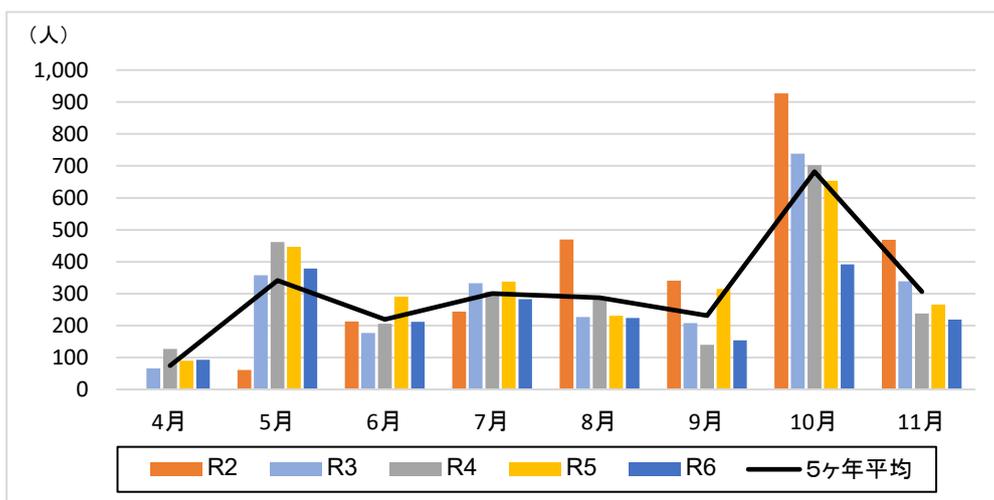


図1-9 西大台利用調整地区の月別認定者数の推移

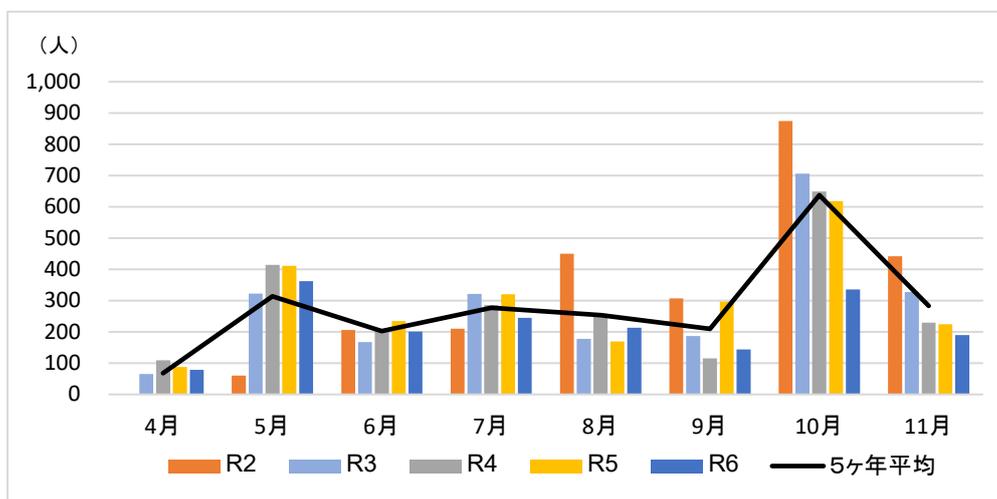


図1-10 西大台利用調整地区の月別入山者数の推移

(3) 西大台利用調整地区の当日認定者数

- ・平成 27 年度に当日認定の制度が開始され、各日の当日認定の上限を 10 人としていた。令和 2 年度に認定関係事務の規定が改訂され、各日の上限人数まで当日申請の受付が可能となり、当日認定者数および認定者に対する当日認定の割合が大きく増加した。
- ・令和 6 年度の当日認定者数は 628 人、認定者数に対する割合は 32.1%であり、令和 5 年度と比較して当日認定者は減少した一方、認定者数に対する割合は増加した。

表 1-3 西大台利用調整地区の当日認定者数の推移

月	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
4	—	3	8	11	22	0	17	40	43	26
5	—	49	33	39	76	26	113	112	133	116
6	—	15	35	26	41	111	53	79	64	80
7	—	20	34	36	32	97	128	103	125	114
8	—	43	28	41	37	206	83	128	61	101
9	—	9	25	21	46	100	92	57	84	72
10	—	48	30	57	49	155	185	149	135	64
11	10	11	27	33	69	99	112	57	89	55
合計	10	198	220	264	372	794	783	725	734	628
認定者数に対する割合 (%)	0.3	5.6	6.7	9.6	13.4	29.1	32.0	29.4	27.9	32.1

(4) 西大台利用調整地区の平日・休日別入山者数割合

- ・令和 6 年度の平日・休日別入山者数の割合は、平日が 36.7%、休日が 63.3%であった。
- ・令和 6 年度は、令和 5 年度に比べて平日の入山者の割合が高くなっている。

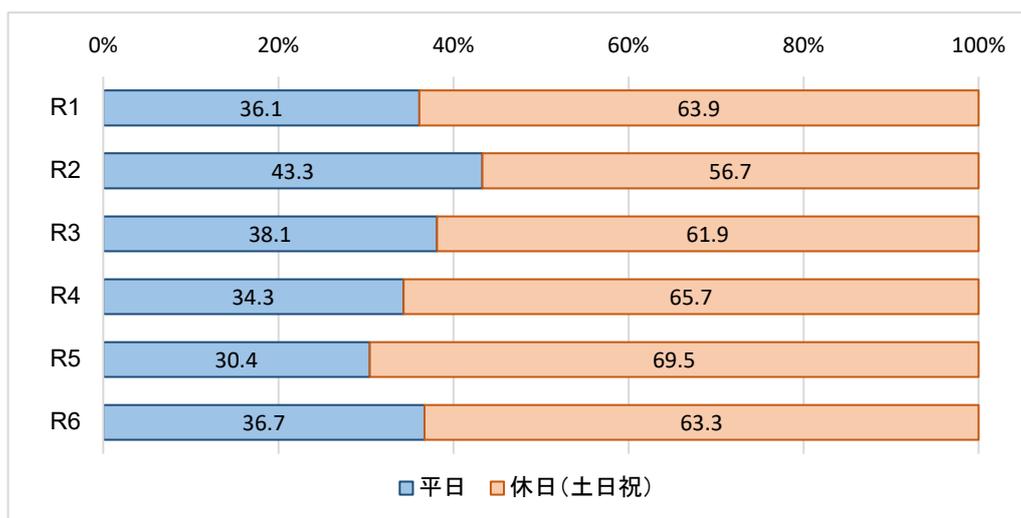


図 1-11 西大台利用調整地区の平日・休日別入山者数割合の推移

(5) 西大台利用調整地区の上限人数に対する入山者数の割合

- ・令和6年度は、上限人数に対する入山者数の割合が50%以上であった日数は7日であった(令和5年度は20日)。
- ・上限人数に対する入山者数の割合が高い順に、7月7日は68%、7月28日は68%、7月20日は64%となっている(令和5年度は100%の日もあった。)
- ・利用集中期の入山者数の割合は、4月20日～6月2日、8月1日～8月15日では全日が50%以下となっており、令和5年度と同様に低い状況にある。
- ・9月14日～11月4日の利用集中期は、50%を越える日が1日となっている。
- ・一方、通常期では、6月、7月および11月の中旬に50%を越える日が多く、上限に対する入山者数の割合が比較的高い日が多い。
- ・梅雨の時期は植生に与える影響が大きいため、通常期としており、この時期の入山者数は上限人数内に抑えられている。

入山者数の上限の設定	
・利用集中期の休日(土日祝)	: 100人
・利用集中期の平日	: 50人
・通常期の休日	: 50人
・通常期の平日	: 30人

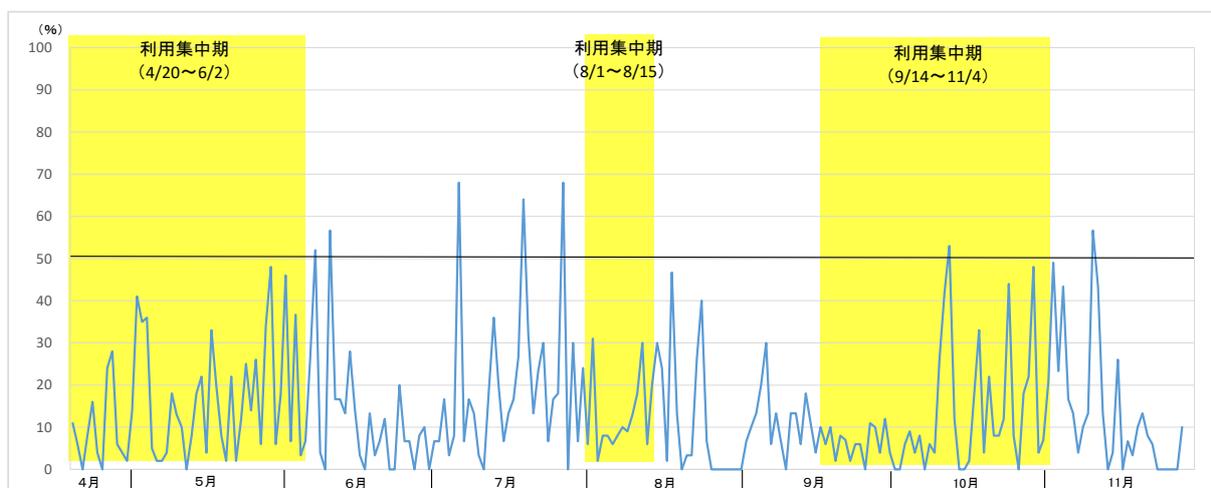


図1-12 令和6年度西大台利用調整地区の上限人数に対する入山者数の割合

(6) 西大台利用調整地区の巡視及び無認定立入者への指導状況

- ・令和6年度の巡視中における無認定立入者への指導は1件2人であった。
- ・無認定立入者への指導は、平成28年度以降は非常に少なくなっている。

表1-4 無認定立入者への指導状況

年度	無認定立入者への指導	
	件数 (件)	人数 (人)
H20	19	32
H21	6	10
H22	8	16
H23	6	8
H24	6	8
H25	3	6
H26	2	2
H27	4	7
H28	1	1
H29	1	1
H30	0	0
R1	0	0
R2	4	4
R3	1	1
R4	3	6
R5	0	0
R6	1	2

2. 西大台利用調整地区の利用者を対象とした意見聴取の実施及び取りまとめ・分析

2-1. 調査概要

- ・西大台利用調整地区の利用者の属性や利用実態、利用後の満足度、事前レクチャーに対する評価等を把握するため、利用者に対する意見聴取を実施した。
- ・調査は、令和6年4月19日～12月2日の期間に実施し、西大台利用調整地区の事前レクチャーの受講者を対象として調査票を配布し、現地で回収とともに、オンラインでの意見徴収を行った。アンケート配布数は1,770票、回収数は1,211票（うちオンライン回答22票）、回収率は68.4%であった。
- ・意見聴取の質問項目は、以下の通りである。また、平成20年度から令和6年度までの調査票の配布数、回収数、回収率は下表のとおりである。

質問項目

(1) 基本事項
・回答者の属性（性別、年齢、居住地、来訪目的）
・団体ツアー・個人（団体ツアー以外）の別
・来訪の行程（宿泊の有無、宿泊先）
・来訪回数（大台ヶ原、うち西大台地区）
・大台ヶ原におけるガイドの利用経験
・西大台利用調整地区に対する期待
(2) レクチャーについて
・レクチャーの時間の長さと内容について
・レクチャーの内容についての不満の理由・改善すべき点
(3) 西大台利用調整地区への再訪の意向
(4) 大台ヶ原でのガイドの利用について
・ガイドの利用に対する意向
・ガイド料金に対する意向
(5) 西大台利用調整地区全般への意見・要望（自由記述）

表 1-5 平成20年～令和6年度の調査表の配布数及び回収率

年度	配布数	回収数	回収率 (%)
H20	1,025	445	43.4
H21	1,020	145	14.2
H22	1,501	448	29.8
H23	1,604	420	26.2
H24	1,930	659	34.1
H25	2,615	545	20.8
H26	943	643	68.2
H27	2,576	916	35.6
H28	2,381	1,435	60.3
H29	2,739	2,031	74.2
H30	870	724	83.2
R1	—	222	—
R2	1,576	1,405	89.1
R3	2,276	1,412	62.0
R4	2,265	1,439	63.5
R5	2,365	1,675	70.8
R6	1,770	1,211	68.4

※令和元年度については、配布数が確認できないため、回収率の算出は行っていない。

2-2. 調査結果

(1) 基本事項

1) 回答者の属性

ア 性別

- ・令和6年度の利用者の性別割合は、男性が52.6%、女性が47.4%であった。

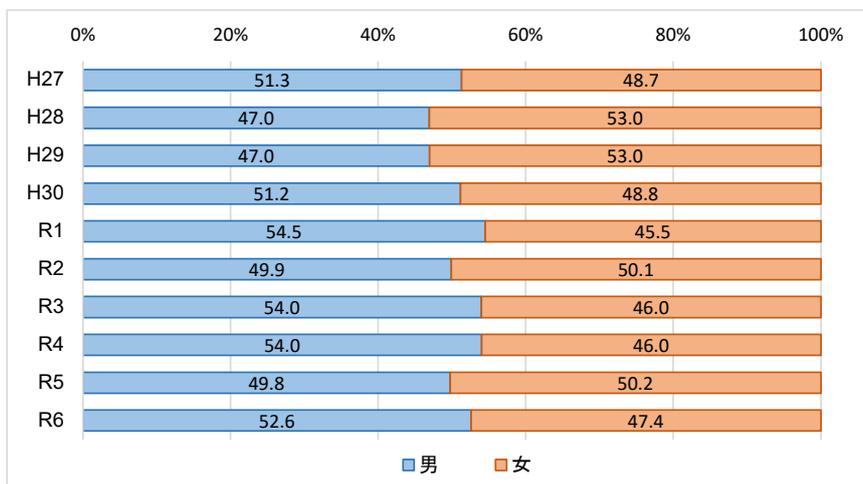


図1-13 性別割合の推移

イ 年齢

- ・令和6年度の利用者の年齢は、50代が32.2%、60代が23.2%で、この世代が半数以上を占める。70歳以上を含む50代以上で、3分の2を占める。
- ・過去10ヶ年の経年変化をみると、年齢別割合は過年度とほぼ同様の傾向であるが、60代以上の割合が過去2番目に少なく、50代の割合が最も多かった。一方で、30代以下が前年度と同様に少ない傾向にある。

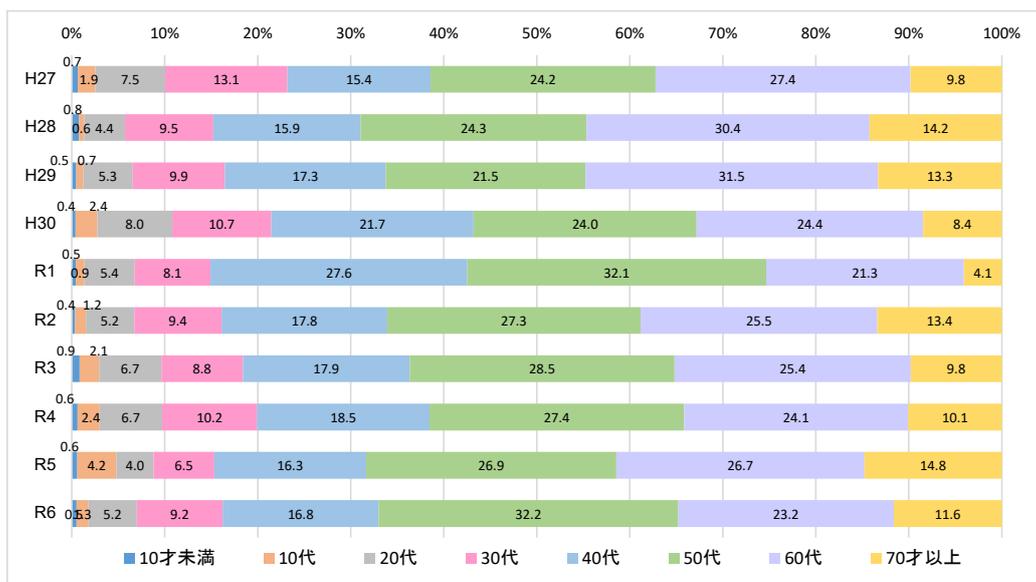


図1-14 年齢別割合の推移

ウ 居住地

- ・令和6年度の利用者の居住地をみると大阪府が35.8%で最も多く、次いで奈良県14.0%、兵庫県9.4%の順であった。
- ・過去5ヶ年の傾向をみると、いずれの年度も大阪府の居住者の割合が最も高くなっている。また、奈良県、兵庫県、京都府、三重県、和歌山県などの近隣府県の居住者が多い傾向は変わらない。

表1-6 居住別割合（上位8位） 単位：%

順位	R1		R2		R3		R4		R5	
1	大阪	35.1	大阪	31.6	大阪	33.8	大阪	31.3	大阪	35.8
2	奈良	16.0	奈良	16.9	奈良	15.8	奈良	14.5	奈良	14.0
3	兵庫	11.5	兵庫	8.3	兵庫	8.9	兵庫	12.2	兵庫	9.4
4	京都	6.1	三重	6.0	京都	7.0	和歌山	5.9	京都	6.1
5	和歌山	5.5	京都	5.7	三重	5.9	三重	5.0	東京	5.5
6	三重	5.3	和歌山	5.3	愛知	5.6	京都		愛知	4.4
7	愛知	5.0	愛知	5.2	東京	4.5	東京	4.4	和歌山	4.0
8	滋賀	2.9	東京	4.1	和歌山	3.9	愛知	4.3	三重	3.6

エ 来訪目的

- ・令和6年度の利用者の西大台への来訪目的は、「登山・散策」が88.8%で最も多かった。
- ・このような傾向は、過年度とほぼ同様であった。

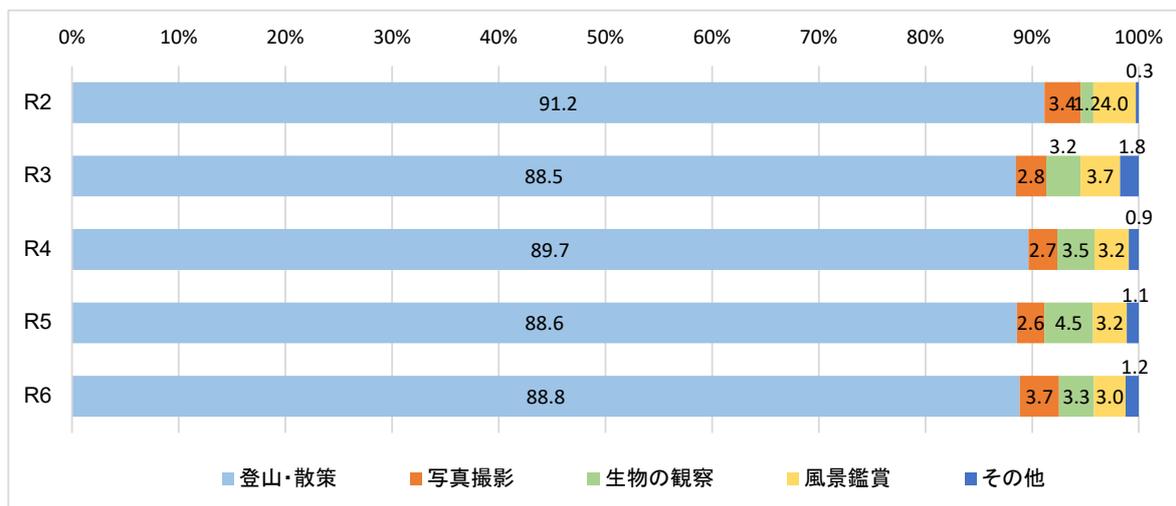


図1-15 西大台への来訪目的の推移

2) 団体ツアー・個人の別

- ・令和6年度の団体ツアー・個人の別については、「個人・グループ」が90.9%と多くを占めた。「旅行会社主催のツアー」は4.4%、「登山や自然観察のガイドツアー」は4.3%であった。
- ・「旅行会社主催のツアー」の割合は、平成28年度に31.5%を占めていたが、その後減少し、令和元年度が近年で最も少ない割合となった。令和2年度、令和5年度に増加しているが、令和6年度は減少している。

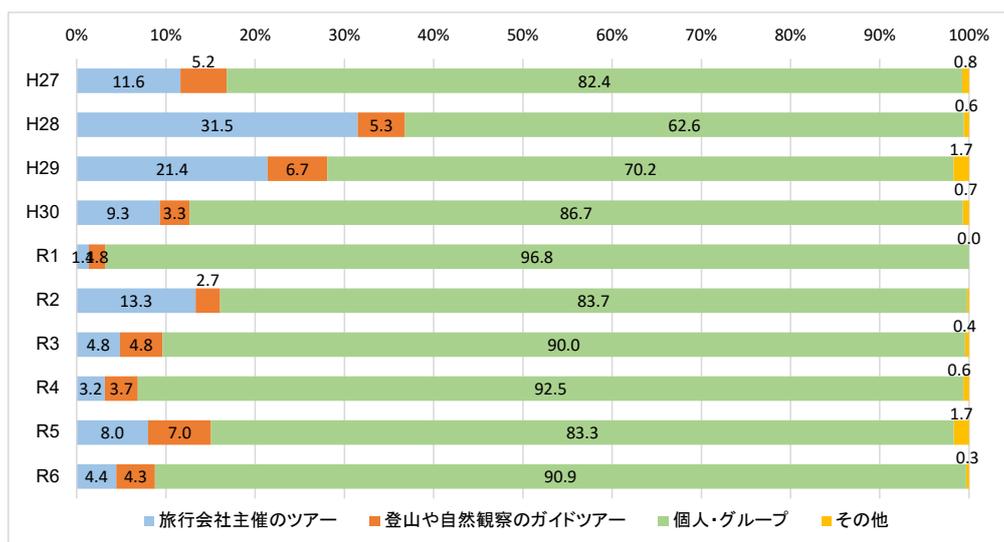


図1-16 団体ツアー・個人の別の推移

※「登山や自然観察のガイドツアー」の選択肢は、平成27年度の見聞聴取より新たに追加された。

3) 来訪の行程

ア 来訪の行程

- ・令和6年度の利用者が大台ヶ原へ来訪した際の行程は、「日帰り」が49.4%、「宿泊を伴う行程」が50.6%で、宿泊される方の割合が増加した。

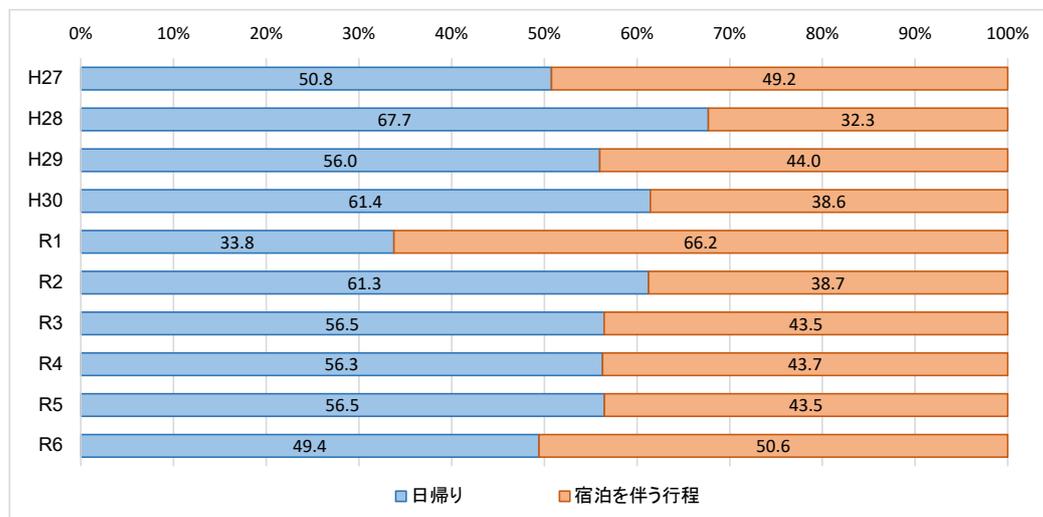


図1-17 大台ヶ原への来訪の行程の推移

イ 宿泊先

- ・ 来訪の行程について、「宿泊を伴う行程」と回答した人に対して、具体的な宿泊先を聞いたところ、「心・湯治館」が319件で最も多かった。次いで、「フォレストかみきた」(57件)、「桃ノ木小屋」(49件)の順で、この2施設の利用が増え(令和5年度は「フォレストかみきた」が55件、「桃ノ木小屋」が27件)、車中泊が減少している。

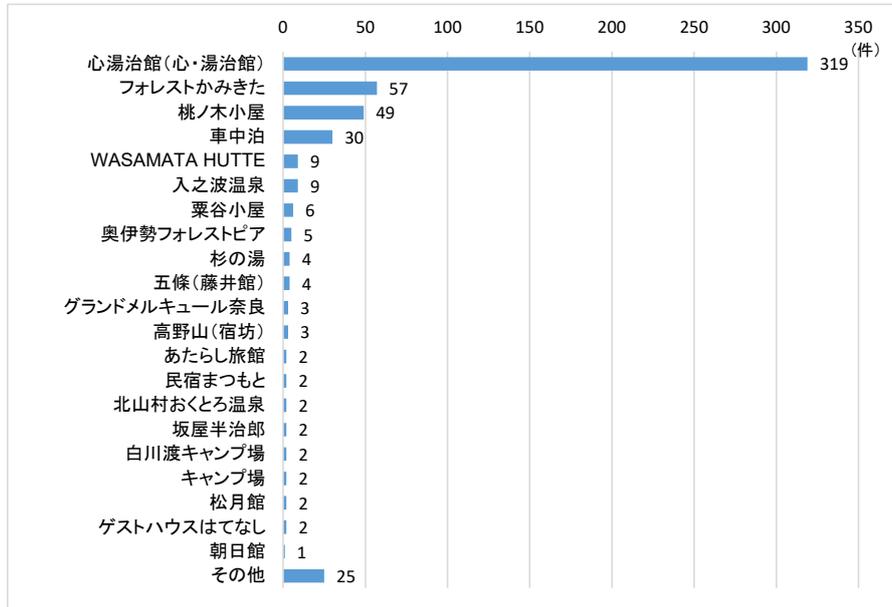


図 1-18 宿泊先(複数回答可)

4) 来訪回数

ア これまでに大台ヶ原に来た回数

- ・ 令和6年度の利用者の大台ヶ原へのこれまでの来訪回数は、「初めて(0回)」が37.8%で最も多く、次いで「1回」(22.1%)が多かった。過去2年度と同じ傾向となっている。

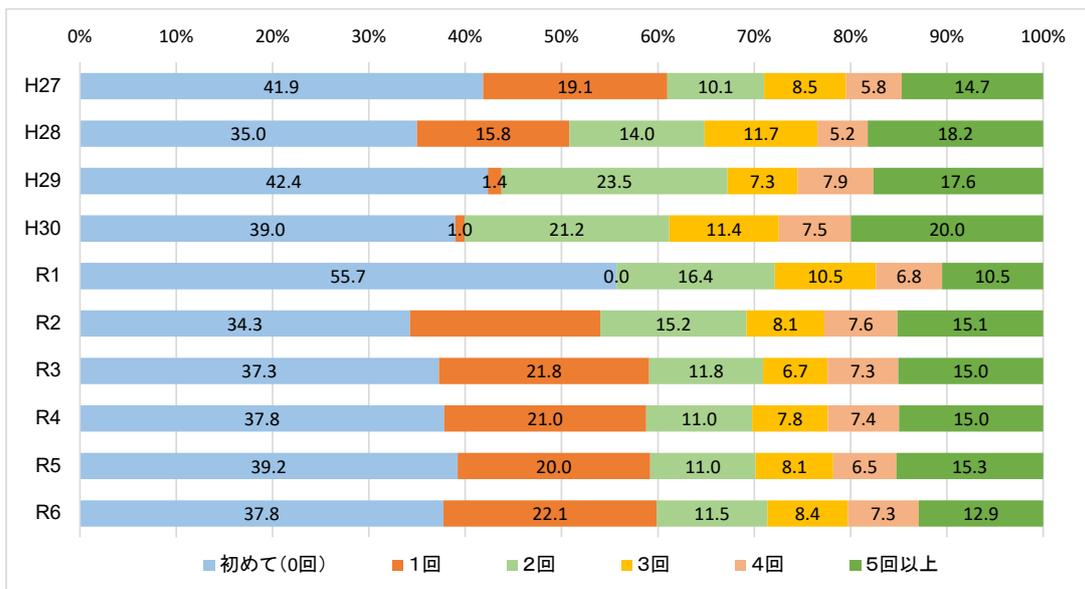


図 1-19 大台ヶ原への過去の来訪回数の推移

イ うち西大台に来た回数

- ・令和6年度の利用者の西大台へのこれまでの来訪回数は、「初めて（0回）」が83.1%で最も多くなっている。令和2年度以降、「初めて（0回）」の割合は8割前後で推移している。

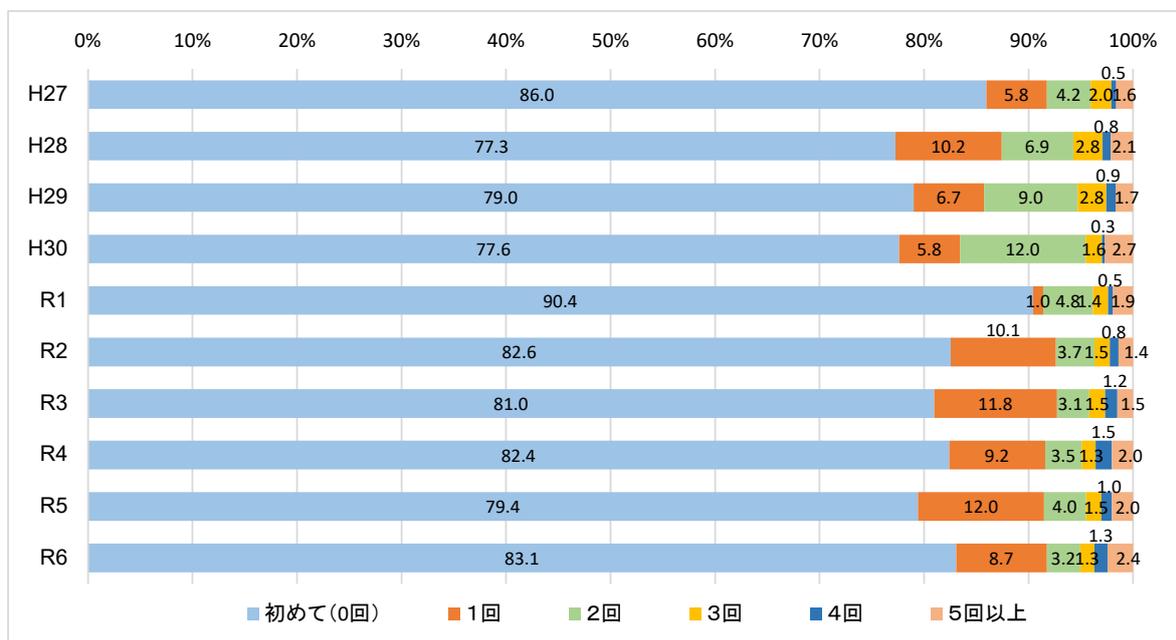


図1-20 西大台への来訪回数の推移

5) 西大台利用調整地区に対する期待

ア 西大台利用調整地区に期待したこと

- ・西大台利用調整地区の利用に際して、何を期待して来たかを自由記述で聞いたところ、「原生的な自然」が1009件で最も多く、次いで「苔」（657件）、「風景、景色」（640件）、「東大台との違い」（420件）の順であった。
- ・令和6年度から自由記述から選択肢としたため回答内容が明確になり、過年度と傾向が異なって、「苔」、「風景、景色」、「東大台との違い」が増加したとも考えられる。

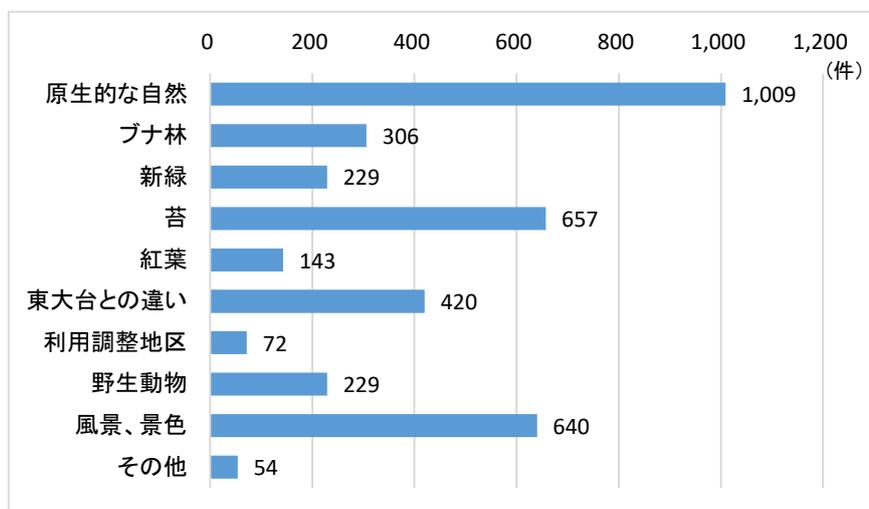


図1-21 西大台利用調整地区に期待したこと（複数回答可）

※「西大台利用調整地区に期待したこと」は、令和6年度から自由記述から選択肢に変更。

イ 期待に対する満足度

- ・西大台利用調整地区を利用した結果、期待どおりであったかを聞いたところ、「期待どおり」が65.6%で最も多く、次いで「期待以上」が29.2%、「期待はずれ」が2.8%であった。
- ・令和6年度から自由記述から選択肢としたため、記述では判別しにくかった「期待以上」や「期待はずれ」という評価が明確になり、「期待以上」が増加したとも考えられる。

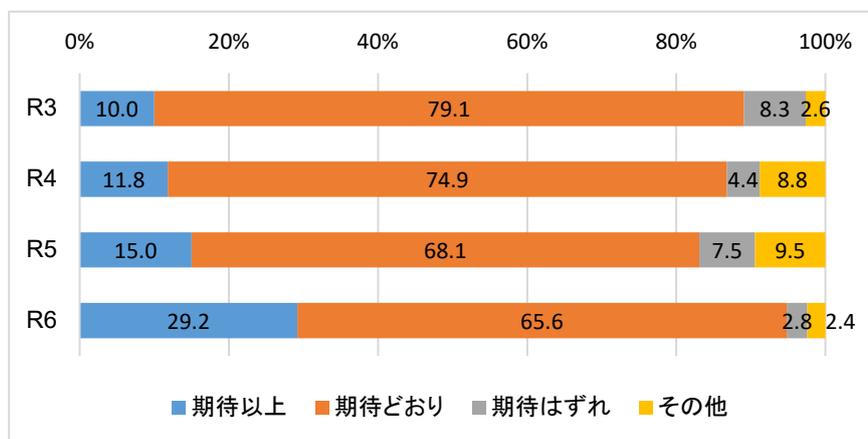


図1-22 期待に対する満足度

※「期待に対する満足度」は、令和6年度から自由記述から選択肢に変更。

ウ 「期待はずれ」の理由等

- ・「期待はずれ」と回答した人（33人）について、「期待に対する満足度」の箇所の自由記述を基にその理由等について整理した。
- ・その結果、「紅葉が見られなかった（早い・遅い）」、「野生動物が（あまり）見られなかった」が5件で最も多く、次いで「思ったような苔ではなかった」（3件）、「利用調整地区ならではの景色がない」（2件）の順であった。

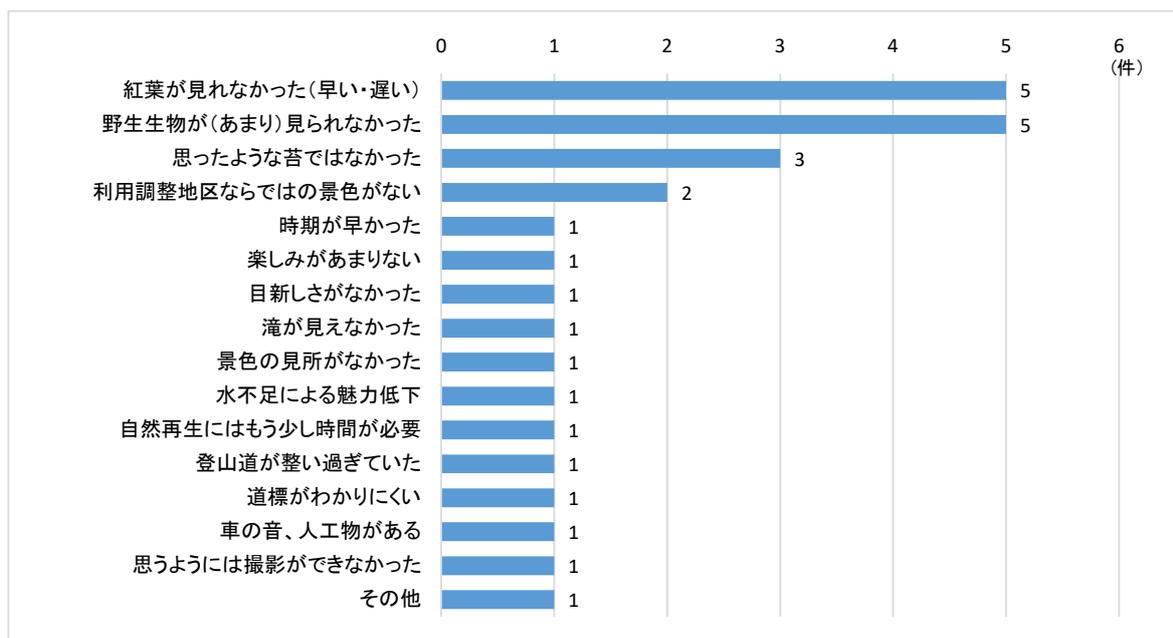


図1-23 「期待はずれ」の理由等

(2) レクチャーについて

1) レクチャーの時間の長さと内容について

- ・令和6年度における事前レクチャーの長さ(時間)と内容に対する意見は、「満足」が48.2%、「普通」が50.8%であった。「不満」は1.0%と少なかった。
- ・令和6年度は、過年度よりやや「満足」が減少している。

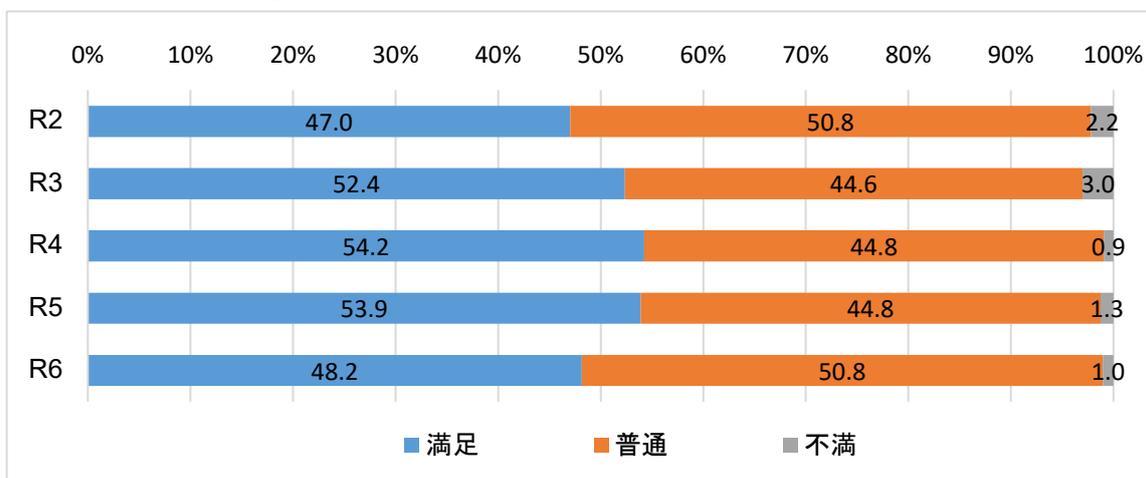


図1-25 レクチャーの長さに関する評価

2) レクチャーの内容に関する改善すべき点

- ・レクチャーの時間と長さに関して「不満」と回答した人に対して、レクチャーの改善点等について自由回答で聞いたところ、以下のような回答があった。

表1-7 レクチャーの内容に関する改善点(「不満」と回答した人)

<ul style="list-style-type: none"> ・もっと詳しく。 ・ビデオでの説明であれば、いつでも気軽に見れるようにした方が、西大台利用のPRになると思った。わざわざやる理由が良くわからなかった。 ・注意事項とコースの案内だけでなく、もう少し詳しく自然を守るためにどのような活動が必要か、知らせるようにした方がよい。 ・レクチャーでなく、注意事項。生物、地史等(住人の歴史)も少し深く希望。 ・短い。内容が薄い。もう少し学習になるものを。(マナー—辺倒)木の種類、植生、大台の林業の歴史などに興味があります。

- ・レクチャーの時間と長さに関して「不満」とは回答していないが、自由回答として、レクチャーの改善点等について、以下のような回答があった。

表1-8 レクチャーの内容に関する改善点(「満足」「普通」と回答した人)

<ul style="list-style-type: none"> ・人の説明の方がいいですね。 ・ガイドさんが何回も都度にレクチャーに参加するのは無駄。みんな待たされた(次のレクチャーグループにガイドさんが入れられたので) ・ガイドさんを別だと思って申込(予約)をしたが、ガイドさん付予約をしないとダメと分かって、時間ロスしてしまったこと。

(3) 西大台利用調整地区への再訪の意向

1) 再訪の意向

- ・令和6年度の利用者に、西大台利用調整地区を再度訪問したいか尋ねた結果、「訪れたい」が81.6%と大半を占め、「訪れたくない」は4.1%と少なかった。
- ・このような傾向は、過年度とほぼ同様であった。

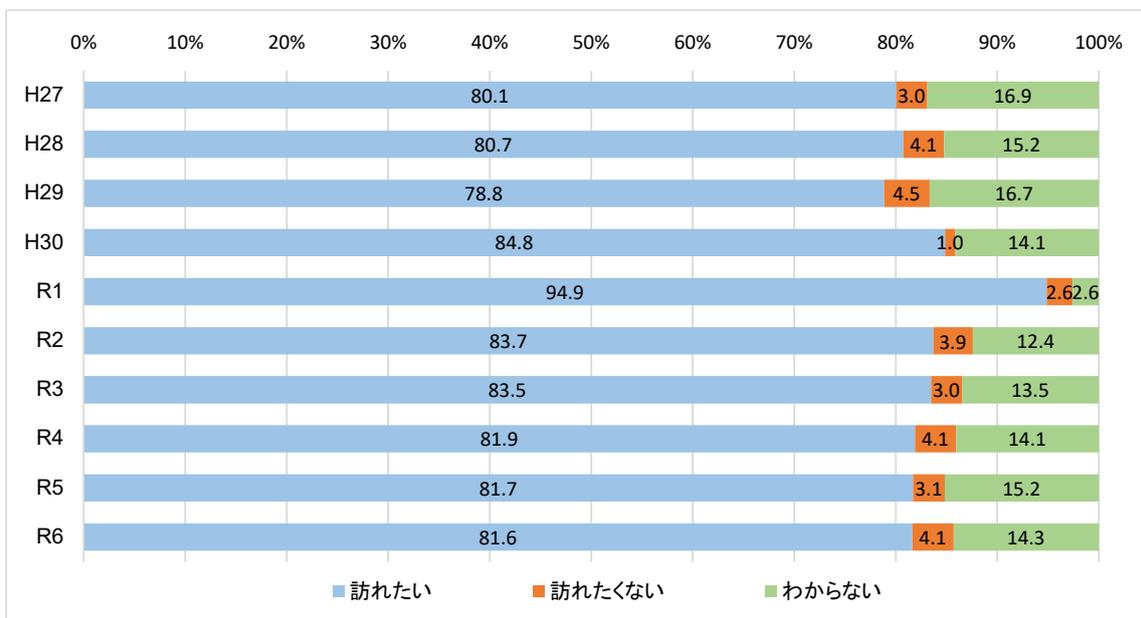


図1-26 西大台利用調整地区への再訪の意向の推移

2) 「訪れたくない」と回答した人の不満な点等

- ・西大台利用調整地区を再度「訪れたくない」と回答した人（35人）について、その原因を探るため、「期待に対する満足度」の箇所の自由記述と、「西大台利用調整地区全般への意見・要望」の箇所の自由記述から、不満な点等に関わる記述を抽出した。
- ・その結果、以下のような15件の不満な点等に関わる意見が抽出された。

表1-9 「訪れたくない」と回答した人の不満な点等

○見どころが少ない・景色が見られない（6件）
・東大台の方が色々な景色があったような気がします。
・苔など濁っていて、あまり風情がなかった。
・利用調整地区ならではの、という景色がなかった。
・景色の見所があまりなかった。
・木が障害で撮影できなかった。比較的好く見る景色だった。
・景観が良く似た感じだった。
○行った時期が合わなかった（2件）
・紅葉が見受けられなかったから。
・来た季節があまり良くなかったのか、余り自然が楽しめなかった。
○目印・案内板がない（2件）
・始めに地図はもらったが、もう少し案内表示（木々の名前、立て札、展望までの距離、展望での見え方の看板設置）が欲しいかなど。

・距離標の設置。

○料金が高い（1件）

・ガイド料金は無料がよい。入場の人数制限はいいことだと思う。

○コースが長い（1件）

・雨の日などの時のため、レクチャーの時短コース、もどる地点を紹介してください。レクチャーの時、いくつかの見どころを紹介して下さい。

○休むところがない（1件）

・ベンチが欲しいです。

○整備されすぎている（1件）

・原生林の中にある吊り橋が人工的だったので、違和感があった。

○キャンセルに対応して欲しい（1件）

・キャンセルになった場合、返金ないのは怠慢。入山受付に住所まで入れる理由は何のため？

○その他（1件）

・西大台利用の人は駐車場の優遇。

(4) 大台ヶ原でのガイドの利用について

1) 大台ヶ原におけるガイドの利用経験

ア ガイドの利用経験

- ・令和6年度の利用者に、今回も含めて大台ヶ原でガイド付きの山歩きや登山をした経験があるか尋ねたところ、「ある」が9.2%、「ない」が90.8%となり、大台ヶ原でのガイドの利用経験が無い利用者が大半を占めた。



図1-27 ガイド付きの山歩き・登山の経験の推移

イ 登録ガイド利用の有無

- ・令和6年度の利用者で、大台ヶ原でガイドの利用経験があると回答した人(110名)に対して、「大台ヶ原登録ガイド」を利用したか尋ねたところ、「利用した」が74.7%、「利用していない」が14.9%であった。
- ・大台ヶ原でガイドの利用経験がある人のうち、「大台ヶ原登録ガイド」を利用した割合が大幅に増加している。令和6年度から設問の中で「大台ヶ原登録ガイド」制度について説明を補足したため、過年度と傾向が異なって「利用した」が増加したとも考えられる。

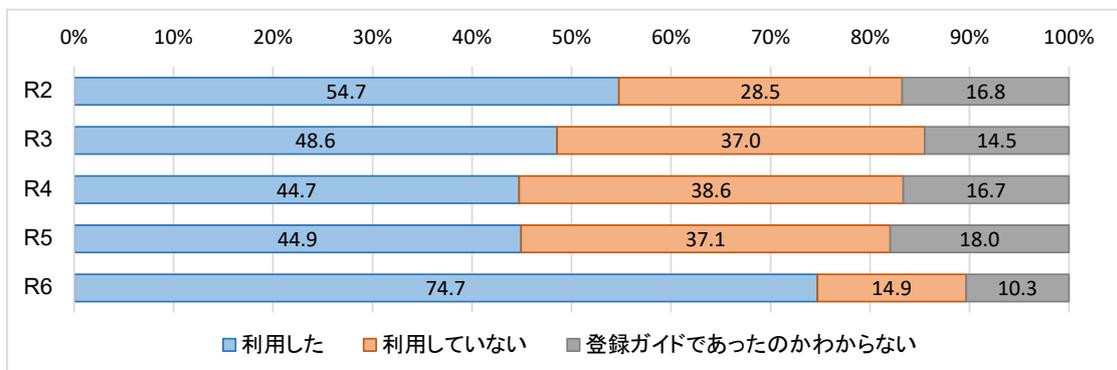


図1-28 登録ガイド利用の有無

ウ ガイドを選んだ経緯

- ・令和6年度の利用者で、大台ヶ原でガイドの利用経験があると回答した人（110名）に対して、利用したガイドを選んだ経緯について尋ねたところ、「ガイド付き団体ツアーを選んだ」が32.7%で最も多かった。次いで、「知人の紹介」（22.1%）、「選んだツアーにたまたまガイドが付いていた（または添乗員がガイドをした）」（19.2%）、「インターネットで探した」（14.4%）の順となっている。
- ・「インターネットで探した」「知人の紹介」など、自らガイドを探した利用者は計36.5%と、過年度に比べてその割合が大幅に増加している。
- ・「大台ヶ原登録ガイド」を利用したことがあると回答した人（65名）の今回の来訪形態は、「個人・グループ」が増えており、今年度に「インターネット」「知人の紹介」により「大台ヶ原登録ガイド」を利用した人が増加したとも考えられる。

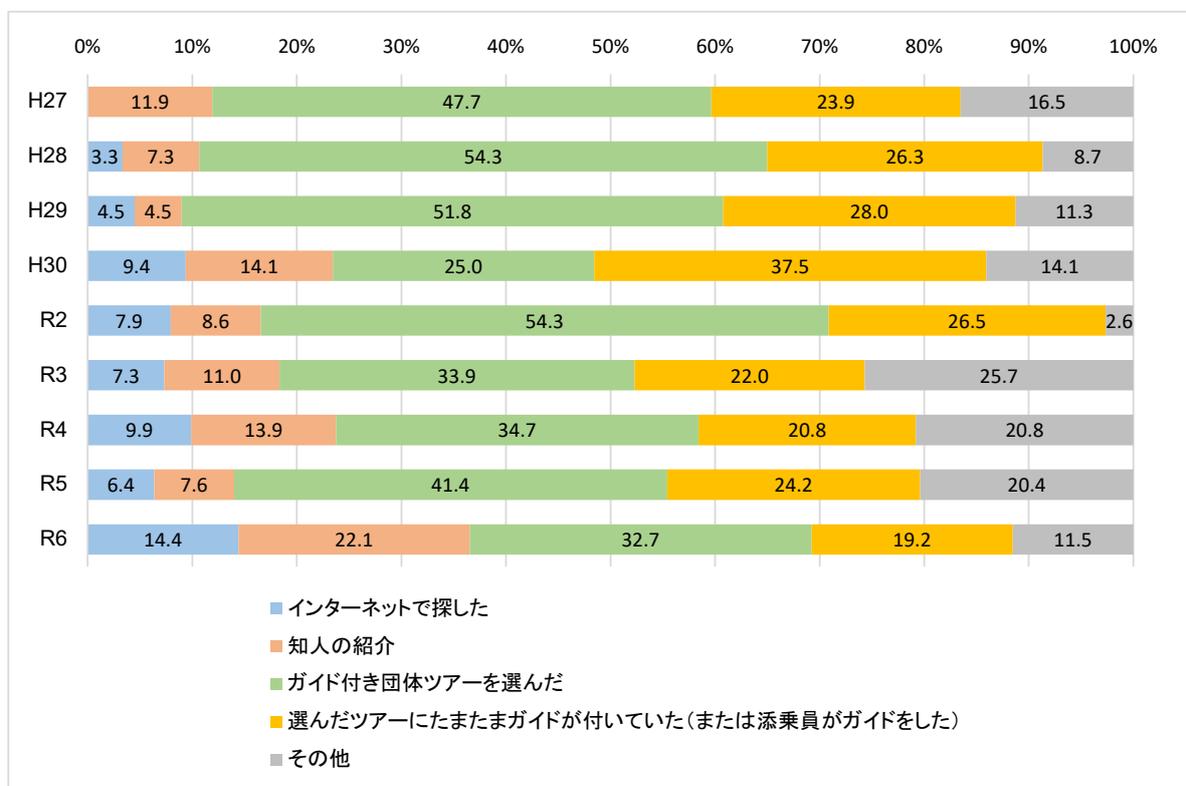


図1-29 ガイドを選んだ経緯の推移

※令和元年度については、ガイドを選んだ経緯に関する回答が無かったため割愛した。

2) ガイドの利用に対する意向

ア 大台ヶ原で求めるガイドの種類

- ・西大台利用調整地区を含む大台ヶ原でガイドを利用するとした場合、どのようなガイドを利用したいか尋ねたところ、「自然についてより専門的な解説をしてくれる中・上級者向けのガイド」が 32.3%で最も多く、次いで「ガイドは要らない」が 29.4%、「自然について基本的な解説をしてくれる初心者向けのガイド」が 25.6%であった。
- ・令和5年度に比べて「ガイドは要らない」とする人の割合がやや増加した。
- ・ガイドの内容として、自然解説を望む人の割合が半数以上で、登山技術指導を望む人の割合は少ない。

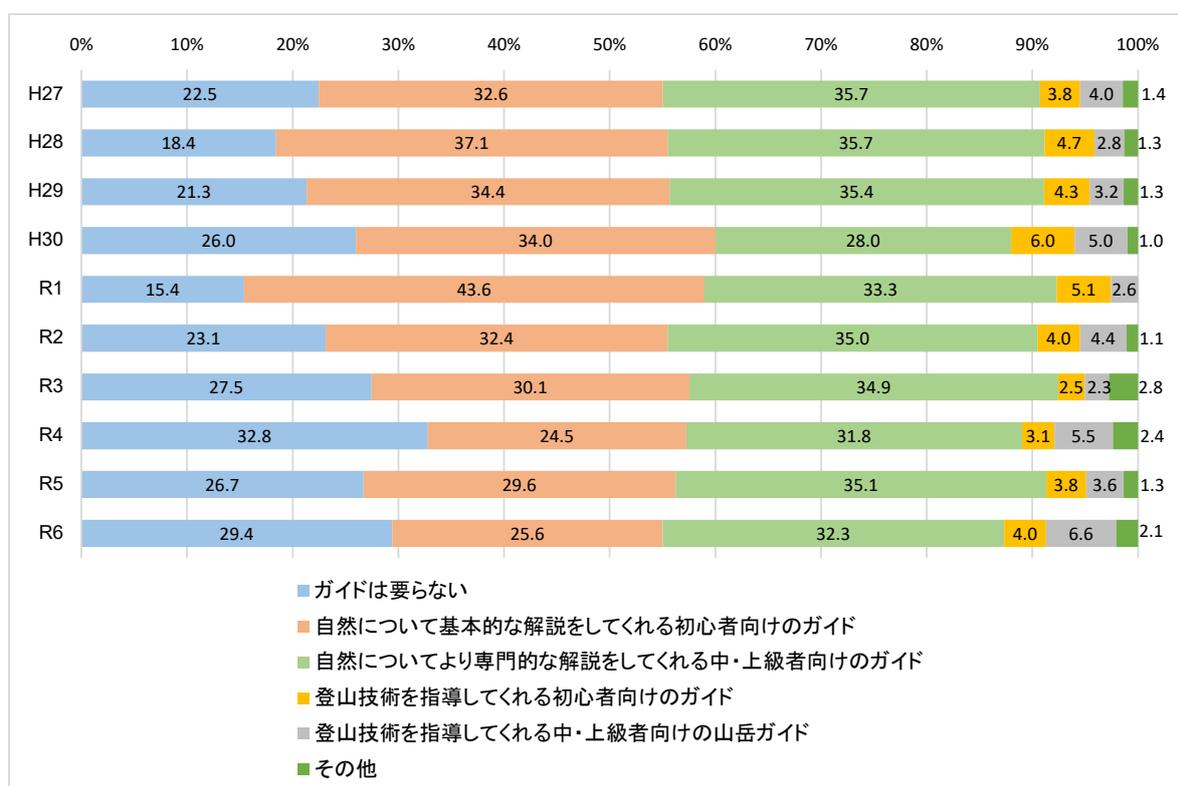


図1-30 大台ヶ原で求めるガイドの種類

※令和元年度については、ガイドを選んだ経緯に関する回答が無かったため割愛した。

イ ガイド料金に対する意向

- ・大台ヶ原でガイドを利用する場合に支払うことが可能な金額（利用者一人当たり）について尋ねたところ、「2,000円以内」が32.6%で最も多く、次いで「2,000～3,000円」が32.3%であった。
- ・支払い可能なガイド料金の額が、過年度より増加傾向にあり、「3,000円以上」と回答した人の割合は、3割を超えている。

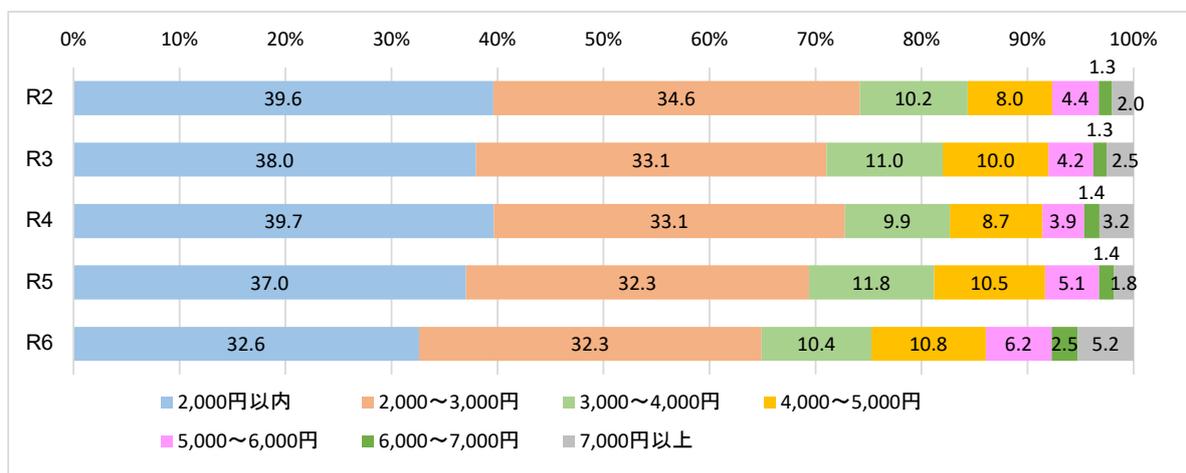


図1-31 大台ヶ原で支払い可能なガイド料金

- ・「西大台利用調整地区全般への意見・要望」の箇所の自由記述から、ガイドの利用に関する記述を抽出した。

○ガイドの利用について（3件）

- ・ガイド料はコースによる、時間や内容により、値段が違うと良いと思います。
- ・ガイド料は内容による。
- ・ガイド料金は無料がよい。入場の人数制限はいいことだと思う。

○グループでのガイドの利用について（2件）

- ・ガイドさんの説明も聞いてみたい気もします。グループ（友人等）の時など検討します。
- ・7000円は妥当ですが、個人で利用するとなると考えてしまいます。何人かのグループで費用を抑えるなどが良いのか、講習会でも良いのか。

○ガイドがいない理由（1件）

- ・ガイドがいない理由として、自分のペースで休み休み歩きたい事が大きな理由。

(5) 西大台利用調整地区全般への意見・要望（自由記述）

- ・西大台利用調整地区及び大台ヶ原全般の利用について、自然保護や管理について評価する記述が多い。具体的な記述内容について、以下に抽出した。

【良かった事に関する記述】

1) 自然保護・再生活動への感謝や、継続的な管理への願い（44件）

意見
・自然が少なくなった今日、このように徹底した環境を守っていく事は大変な事なので、これからも活動していかなければと思います。スタッフの皆様ご苦労様です。これからもがんばって下さい。
・とても整備されたコースと思いました。バイケイソウの群落にはびっくりしました。いつまでも守って欲しいと思いました。
・人数調整地区という位置づけでなかった時代に2回入山した。それに比べて自然を守るための取り組みに力を入れておられることが実感できた。
・今の状況を将来へも残すべきだと訪れて感じました。
・これからもこのような保護を続けて欲しい。
・このまま自然を守ってほしい。
・孫やその子の時代まで、原始的な森が体験できるよう、維持していただきたいなあと思います。
・今後も自然をありのままに残していきたいものです。
・これからも自然を保つよう、お願いします。
・唯一無二の原風景を残してほしい。
・大切にしながらもみんなが楽しめるように保存できることを願います。
・今のままであまり手を加えすぎない保全を続けてほしいと思います。
・とても素晴らしいので、守って下さい。
・このままの自然を大切にしていきたいです。
・上手に長続きできれば良い。
・国立公園利用調整地区というだけあって、管理・整備が細部までゆき届いたトレッキングルートだと思った。1日あたりの人数を制限する取り組みは、良いと思う。ナラ枯れによる被害については、施しようがないため、今後の経過が心配。
・これからもこの原生林の保護に努めて下さい。
・このまま自然を維持して欲しいと思います。
・これからも自然を守ってほしい。
・植物も動物も一生懸命生きているのを感じます。自然豊かなこの森を守っていききたいですね。
・有名になれば人が押し寄せるような素晴らしい自然ですね。でも人が来すぎることは環境破壊につながるため、苦慮されている事と思います。これからも応援しています。自然保護活動をしてください。このような素晴らしい自然を残して下さったことを感謝いたします。本日はありがとうございました。
・自然を守る皆さんの力により、すばらしい山歩きを楽しめました。ありがとうございました。
・これまでみなさんが守ってこられた自然を楽しませてもらうと同時に大切にしたいなと思いました。ありがとうございました。
・いつまでも西大台の自然を守ってほしいです。ありがとうございました。
・人にめったに会わない中で、どっぷり自然の中に身を置き、歩くことができ、大満足です。よく整備されており、皆さんご尽力に頭が下がります。

意見
・たいへん有意義な時間が過ごせました。いつまでもこの自然が残るように、がんばっていらっしゃる皆様に感謝です。
・自然を残そうという取り組み、すばらしいと思います。ありがとうございます。
・これからも自然を大切にしていってほしいです。ありがとうございます。
・静かで落ち着いて散策できるのが良い。豊かな自然を守ってほしい。その為の協力はできる限りしたい。
・環境省の保全、森林の保護、改善事業によってさらに豊かな自然林にもどるように期待しています。
・手つかずの森がずっとこの先も残っていくことを願います。人も自然の一部ですから、協力しなくてはと思います。
・美しい自然をこのまま残せるようにしたい。
・いつまでもこの森が守られますように。
・自然環境の保全、大変でしょうがよろしくお願いします。
・美しい所、ずっと残して欲しいです。
・とても整備されていて、すばらしかったです。美しい。守っていきたいです。
・保全が大変でしょうが、この自然を残すため、がんばって下さい。
・原生林はとてもよく管理されていて、すばらしい。
・このようなきれいな自然をいつまでも残してほしい。
・とても素敵な森林でした。管理していただいているお陰で、静かな森を散策できるとても貴重な場所だと思いました。ありがとうございます。
・特に要望はありませんが、自然を管理していくのは大変なことだと思います。自分が楽しめたのは、普段から自然を大切にしている人達がいてくれたからだと思います。本当にありがとうございました。
・何年後かの姿を楽しみにしている。雨の多い所と知りつつも晴れた展望も期待したい。
・美しい山を保全して下さることに心より感謝申し上げます。いつもどうもありがとうございます。これからも色々大変なこともあるかと思いますが、どうぞ宜しくお願いいたします。
・とても大切に森が守られているのがわかりました。ありがとうございます。この魅力は季節を変えたり、何度も訪れたいです。誰かに教えたい。山が好きな人に。まだ知らない人多いと思う。

2) 自然を満喫 (15 件)

意見
・豊かな自然にふれることができ良かった。
・毎回景色が異なり、大変面白いです。ありがとうございました。
・ゆったりときれいな自然にふれ、楽しく歩けました。
・素晴らしいのひとこと。駐車場から一步入ったら、どこを見ても素晴らしい。
・今回初めて行かせてもらったので、自然を満喫させていただけただけで大満足でした。又来たいと思いました。教えていただけることがあれば、初級でも上級でも教えて欲しいと思っています。ありがとうございました。
・ハイキングとして最高です。
・静かに歩けるので、とても充実してゆっくりできました。四季を通じて歩いてみたい (冬場とか)
・自然が多くリフレッシュできた。
・人数制限や事前レクチャーにより、守られている自然があつて良いと思う。のんびりと

意見
自然の中で、癒される事はとても嬉しい。今回のガイドさんはいろいろと教えてくれて、とても良かった。帰りのバスの時間がもう少し遅いと、のんびり見に来ることができる気がする。夏場は16時でなく、16時半か17時くらいでもいいのかなあ〜。
・とてもすばらしい所でした。天気の良い時にまた来たいです。
・美しい自然に心が癒されました。保全に尽力していただき、ありがとうございました。これからもずっと美しい自然が保たれるよう、がんばって下さい。
・雨の中、大台ヶ原堪能して来ました。晴天の大台ヶ原も見てみたいです。
・素晴らしい自然を味わうことが出来ました。是非また訪れたいと思います。
・美しい自然を訪れる度に感じられることに感謝です。いろいろお世話くださり、有難うございます。

3) 目印があって安心 (10件)

意見
・水色のリボンがわかりやすかったです。苔が綺麗でした。
・ガイドロープ、リボンが充実しており、迷うことはなかった。
・青いリボンがわかりやすく、迷わなかった。
・道が青いテープでとってもわかりやすかったです。ありがとうございました。
・青いテープが心強かったです。
・ブルーの目印がすばらしいです。あってほしいなと思うところすべてについていて、安心して道を行く事ができました。
・ブルーリボン助かりました。
・青テープのおかげでコースがわかりやすかったです。
・管理、整備ご苦労さまです。ここというところに青テープがあり、安心して歩くことができました。
・道しるべとして青いテープがあり、分かりやすかった。

4) 標識があり、ルートが分かりやすい (8件)

意見
・道案内がわかりやすく、迷わなくてありがたかったです。
・ルートも分かりやすく、歩きやすかったです。
・道しるべもわかりやすく、歩きやすかったです。
・ルートがわかりやすく、良かったです。
・散策路も案内等、分かりやすく有難かった。スタッフの方も親切でした。ありがとうございました。また季節を変えて訪問したいと思いました。
・管理が大変だと思いますが、コースもわかりやすく、ありがとうございます。
・散策路も案内等、分かりやすく有難かった。スタッフの方も親切でした。ありがとうございました。また季節を変えて訪問したいと思いました。
・登山道及び散策路がよく整備されており、ありがたかった。また道標の位置、方向性は正しくて、よく分かった。力水もよかった。ありがとうございました。

5) 巡視員・スタッフ等 (7件)

意見
・巡視員を置き、地域内の安全を守っているのは大変良いことと思う。

意見
・散策路も案内等、分かりやすく有難かった。スタッフの方も親切でした。ありがとうございました。また季節を変えて訪問したいと思いました。
・監視員の方々がとても親切で、初めての西大台散策だったので、安心して歩けました。初心者でも迷わずに歩くことができ良かったです。ありがとうございます。
・巡回員の方もよく、天気も霧がかかり、苔も幻想的で楽しめました。このまま自然を守っていただければと思います。
・環境省（パトロール）などの関係者をお見かけして、維持に努めておられること、またその貴重な自然を慎重な形ながら公開してくださっていることに感謝です。
・はじめのゲートでの確認や、巡視を行う方々の対応が丁寧で、楽しむことができました。ありがとうございました。
・今回、道に迷ってしまい、レスキューしていただきました。とても心強く安心しました。ありがとうございました。

6) 入山規制 (6件)

意見
・今のままで良いと思う。利用制限も厳しくて良い。
・人数制限されているので、静かでゆっくりと散策出来ました。次回は秋に来たいです。
・静かに歩けるので、とても充実してゆっくりできました。四季を通じて歩いてみたい（冬場とか）
・人数制限は自然保護の為にもありがちです。ずっと美しい西大台であって欲しいと思います。
・自然を守るためには、良い制度だと思います。初めてこのような取り組みをされている事を知りました。
・入山規制をして、自然保護をはかっている山を今まで知らず、初めての経験で驚きました。山の自然を守るための良い試みと思います。

7) 事前レクチャー (6件)

意見
・子連れで来ましたが、事前のレクチャーで意識を高めてくれました。今後の山歩きでも、良い意識づけになったと思います。ありがとうございました。
・説明が丁寧で良かった。
・レクチャーでおおまかな目印を聞いていたので、道迷いはなかった。
・初めに VTR を見てから歩いたので、わかりやすかった。ミズナラ見落としとして残念だった。
・事前にレクチャーをうけた際に回り方だったり、きのこや自然の話を書いていたので、色んな事に困らずにまわることができた。
・色々お話聞けてよかったです。ありがとうございました。

8) よく整備されている (5件)

意見
・整備が行き届いて、快適に利用することができました。ありがとうございます。
・コースは整備されていて、歩き易かったです。風景とも合っていて、整備されるのは大変だと思いますが、出来れば続けていただきたいと思います。
・良く整備されていて、良かったです。
・登山道及び散策路がよく整備されており、ありがたかった。道しるべとして青いテープ

意見
があり、分かりやすかった。また道標の位置、方向性は正しくて、よく分かった。力水もよかった。ありがとうございました。
・吊り橋も新調してあり、山路もきちんと整備されて、快適。途中でガード確認の監視員さんの対応も気持ち良かった。クマの爪とぎ跡は生々しく、少し怖かった。

9) トイレ (4件)

意見
・トイレもちょうどいいポイントにあって良かったです。
・簡易トイレブースが設置してあって良かった。
・トイレが利用できるようになったのはすごくありがたい。前はなかった。
・トイレブース助かりました。

10) 現状の維持 (4件)

意見
・これからも長く、今の状態を維持してほしい。
・今のままで良いと思います。
・現状で良いと思います。
・今のままでよいです。

11) 景観の保全 (3件)

意見
・できるだけこの景観を守りたい。貴重なものだと思う。
・引き続き、景観保護に努めていただきたい。
・これからもこの景観を守っていただければと思います。

12) ガイド (3件)

意見
・人数制限や事前レクチャーにより、守られている自然があつて良いと思う。のんびりと自然の中で、癒される事はとても嬉しい。今回のガイドさんはいろいろと教えてくれて、とても良かった。帰りのバスの時間がもう少し遅いと、のんびり見に来ることができる気がする。夏場は16時でなく、16時半か17時くらいでもいいのかなあ〜。
・前は仲間だけで歩いたが、今回色々な説明を伺い、やっぱり何も知らずに歩くよりは断然、楽しいと思った。
・今回初めて西大台に来ました。ガイドと一緒に行動してくれたおかげで、安全にまた自然について、ガイドをしていただき、ただ歩くのではなく、とても有意義な散策となりました。特に初めて訪れる方は最初はガイドを付けて散策した方が会を重ねるとしても、より良いものになると思います。

13) 動植物 (2件)

意見
・意外に動物には会えなかった。鳥・セミ・カエルの鳴き声が心地よい。
・めずらしい植物もたくさん見れ、なかなか見る事のない自然の姿が大変良かったです。

意見
天気に恵まれた事もよかったです。

14) ビジターセンター (1 件)

意見
・ビジターセンターは楽しかった。

15) 当日の受付対応 (1 件)

意見
・当日受付があつて、とてもありがたかったです。

【改善・要望に関する記述】

1) 立入事務手続きの改善 (16 件)

項目	意見・要望
①立入事務手続きの改善 (5 件)	・入山受付を当日のみにして欲しい。
	・かなり利用しにくかったです。当日でも気が向いた時や天気がよい時に利用できるようにしてほしい。かなり前に予約をするので、天気の手配が多かった。当日の天気が分からないので。
	・前月までに予約出来たらいい。
	・申請をもっと簡単にして欲しい。
	・天気を見て行きたいので、ギリギリまでネット受付ができるとうれしいです。9時まで待たないといけない。東で日の出を見て待っている (1 時間以上待たないとだめなので)。
②入山協力金の徴収について (5 件)	・入山料、物価が上がっています。1,500 円でも良いと思います。
	・利用調整の重要性を利用者に伝えるためには、ガイド料は安い方が利用しやすい。それとは別に全員から入山料を徴収して、地区保全のために役立てていくべきだと思った。またオリジナルグッズの売り上げの一部が、自然を守るための資金になるようなシステム作りが必要。
	・末永く、美しい自然を守って下さい。入山料はもっと高くても良いと思います。
	・維持されるのは本当に大変だと思います。もっと入山料をとってもいいと思います。
③立入日の変更・キャンセルの期日について (3 件)	・キャンセルになった場合、返金ないのは怠慢。入山受付に住所までいれる理由は何のため？
	・日程変更が 2 日前ぐらいまで可能になればうれしいです。
	・一日前後の日程変更ができれば嬉しいです。
④受付時間の繰り上げ (1 件)	・当日の受付をもう少し早めてもらえると良い。
⑤東大台での費用徴収について (1 件)	・西大台利用者にものみ費用を負担する制度ではなく、東大台利用者にも一人 10 円でも 100 円でも負担を課したら、さらに良い保護に使えるの

項目	意見・要望
件)	ではないでしょうか？
⑥利用者の制限 (1件)	・トレランは入れないで欲しい。

2) 事前レクチャーの改善 (4件)

項目	意見・要望
①講習内容の充実 (1件)	・レクチャーの時、いくつかの見どころを紹介して下さい。
②事前講習の実施 (1件)	・歩くのは自分のペースで歩きたいので、有料でも事前の講習が聞けると良い。1000円程度(個別でなくても良い)。自然を残しつつの整備は大変だと思いました。近ければ、毎月来たいです。
③熊対策の紹介 (1件)	・熊に対しての(出会った時の)対処法を教えてください。
④その他(1件)	・年間パスの設定をお願いします。

3) 歩道・コースの整備 (22件)

項目	意見・要望
①ショートコース の設置 (7件)	・雨の日などの時のため、レクチャーの時短コース、もどる地点を紹介して下さい。
	・コースが長いので、半分ぐらいのコースで自然観察ができると良いと思いました。
	・ショートカットのコースをつくれないうらうか。
	・5時間コースの他、3時間コースもあるといいです。紅葉も来てみたいです。貸し切りで雨でもゆっくりできました。東大台とは違う景色でとてもよかったです。
	・一周コースは想像より長かった。短時間での見どころなどがあるとよい。調整池制度を導入してからの効果(それ以前の様子も)知りたかった。
	・もう少し短いルートがあれば、より多くの方が利用できると思います。
	・反対側に近い入口があれば奥まで行きやすくて良いと思う。
②吊り橋の改善 (6件)	・原生林の中にある吊り橋が人工的だったので、違和感があった。景観が良く似た感じだった。
	・とても美しく整備され、気持ち良く歩けました。つり橋の色は自然になじんだ色が良いと思いました。
	・新しい橋が周囲の景観とマッチしていなく、残念。工夫して欲しかった。
	・吊り橋が新しくなり、驚きました。自然の中で少し違和感がありますが、仕方ないのでしょうか。(フェンスも増えていました)コースの目印はもう少し少なくても良いかもしれません。
	・橋がしっかりしていて良かったが、自然とは合ってなかった。少し樹木の説明とかあればうれしい。
	・2か所の橋の色が自然とマッチしない。
③休憩場所の整備	・ベンチが欲しいです。

項目	意見・要望
(3件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ベンチ。 ・展望台にベンチなどがあればいいと思います。
④登山路の整備・改善 (3件)	<ul style="list-style-type: none"> ・小処方面まで行きましたが、途中倒木があり、通れませんでした。 ・歩行中、脚を乗せた岩が動いて、ハッとしましたので、直しておいてください。ありがとうございました。 ・石が多くて少し歩きにくい所があった。
⑤展望・撮影スポットの整備 (3件)	<ul style="list-style-type: none"> ・面白い写真スポットがあればいいと思います。 ・東よりもモニュメント的（撮影スポット・特徴の強いスポット）がなく、やや単調。しかしながら、豊かな自然、気候等、天気の良いもあり、満足度は高い山行でした。 ・景観がひらけた所が1つあると良いと思う。展望。

4) 標識等の整備 (44件)

項目	意見・要望
①標識の増設 (13件)	<ul style="list-style-type: none"> ・表示がもう少しあると不安なく歩けました。(時間・場所) ・もっと標識を増やしてほしい。立入認定証のひもをもっとしっかりした物にしてほしい。テープがたくさんあるのはとても良かった。ありがたかった。 ・看板 ・七つ池を見逃しました。場所がわからなく、通り過ぎてしまいました。 ・七つ池やタタラ力水はわかりやすい標識がなく、見落として過ぎてしまいました。わかりやすい標識を立ててもらいたいです。 ・分岐点とか少しわかりにくかった。 ・ナゴヤ谷〇流れ後、木橋がわかりにくかったなので、行く予定のない松浦武四郎碑まで回ってしまった。その後川渡った木看板（駐車場）通り進んだが、分岐点のテープが目に入った開拓跡道に進んでしまった。せっかく標識にピンクテープだから、センター戻り道はピンクテープを木根等に巻いて、開拓跡と混同しないよう。または「センター戻り」と上り坂選ぶよう区別して欲しい。 ・分岐の柱は、1本にまとめないで、方向別に1つずつにして欲しいです。 ・ルートのポイントごとに表示があるとよいです。(特に開拓村) ・松浦四郎碑の分岐で、ルートミスしてしまいました。自分のミスですが、渡渉に気を取られて、顔を上げると碑の方のトレイルが目に入ってしまうので、迷いやすいポイントかもしれません。 ・名所に案内板が欲しいです。ほとんど見落としてしまいました。POP看板欲しい。 ・所々目印が見つけれず、どちらに進めばよいか、考えることがありました。あまりたくさんあっても景色を壊すことになりませんが、わかりにくいところに目印があれば…と思います。 ・少し標札が分かりにくいと。
②距離表示の設置 (10件)	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な標識がない。例えば開拓分岐まであと何kmだとか、あと時間の計算も出来、安心する。東の方が親切。沢沿い、時計回りは苔も少なく、十数年前とあまり変わっていなかった。

項目	意見・要望
	<ul style="list-style-type: none"> ・初めに地図はもらったが、もう少し案内表示（木々の名前、立て札、展望までの距離、展望での見え方の看板設置）が欲しいかなど。 ・歩いている位置がわかる銘板（吊り印）等があればうれしい。西大台チャレンジ出来てよかったです。ありがとうございました。 ・現在地、あと何キロがわかると良いと思いました。 ・コースの中で、自分のいる一がわかるようにしていただけると助かるかなと思いました。 ・樹木テープの標識で分かりやすい反面、〇〇mの標柱があるとありがたい。自分のいる場所、残りの距離が分かりにくい。 ・現在地の把握が難しく（残りの距離等）、時間の割り当てがわかりにくかった。 ・もう少しポイント間の距離や時間を示して欲しい。歩いていてどの位置にいるのか、わかりづらい。 ・時間の調整の為、500mぐらいおきに表示プレートなどがあれば良かったと思う。樹木名などプレート表示あればと思った。 ・反時計回りのルートについても、距離を明確にしておいて頂けると助かります。
③目印テープの増設・改善（10件）	<ul style="list-style-type: none"> ・目印のテープの色が少し見づらい所があった。ピンク色だと見つけやすいと思う。 ・テープ（水色）があちこちに貼ってあり、迷う心配はなく助かりました。しかしビニールを使用しているため、劣化して、細くなったものが水と一緒に流され、マイクプラスチックになる可能性があるので、気になりました。ありがとうございました。 ・青テープは助かりますが、自然にかえる素材か考えつつ歩いてました。 ・枯れ葉が多く、少しマーキングの分かりにくいところがありました。 ・ブルーの標識が異常に多い所と必要な所に数が少ないのが気になった。 ・登山道のテープはもっと少なくて良いと思います。 ・自然保護地区は理解しつつも、ロープの多さが人による「管理」も感じさせました。 ・マーキングが多くなり過ぎ ・コースの中のブルーのリボンは大変ありがたかったです。途中、コースがわかりづらい所があったので、もう少し数を増やしてもいいのではと感じました。 ・少し順路がわかりづらい所があった。目印の間隔を短くしてもらえると歩きやすいです。
④解説板の内容充実（4件）	<ul style="list-style-type: none"> ・自然だけでなく、西大台の歴史や利用調整地区の目的などの説明がほしい。 ・展望台まで行ったが、今回はガスってよく見えなかったが、どちらの方面に何が見えるとか、案内板があればよかったですと思いました。 ・展望台からどの山が何かわかりにくいと思ったので、山の写真と山の名前があるといいと思った。 ・見所の説明があるといいと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・よく整備されていると思います。マップと居場所との対応づけが難

項目	意見・要望
⑤地図と現在地の対応（3件）	しかった。
	・地図に現在地を示す看板があると良いと思う。
	・地図と照らし合わせて、どこを歩いているのかわかりにくかった。マップに番号を順につけて、それを看板として立ててくれるとありがたいです。
⑤標識の修繕（2件）	・要所要所に目印があり、安心して歩くことができました。看板や説明書きの標識が壊れているところがあったので、修理していただけたらと思いました。
	・川の水がきれいだった。看板表示がはずれているところがあった。
⑥樹木の情報充実（2件）	・水色テープがわかりやすかった。樹木名の札があればよかったかな。
	・樹齢がわかると良い。木の名前など興味もてるように、山の中の木につけてほしい。開拓の理由、歴史も知りたい。

5) 設備（トイレ等）の整備（12件）

項目	意見・要望
①トイレの整備・増設（8件）	・トイレが心配です。今回はリスが見られて嬉しかったです。
	・トイレが（もう少し）2か所ぐらいあれば・・・展望台が景色がもう少し開けていれば気持ちいいかもです。
	・開拓地跡ともう一ヶ所トイレの設置があると嬉しいです。
	・トイレを増やせないかな（今のやり方でいいので）
	・トイレがシャワー式ならもっとよかったです。
	・自然保護のためだとは思いますが、普通のトイレを休憩場所に設置していただきたい。特に女性はつらいです。
	・トイレのバイオ化。
③その他（4件）	・シャワーが欲しいです。
	・保全ありがとうございます。素敵です。水場があるといいなあ。
	・洗濯できる所があればありがたいです。
	・更衣室があるといいかな。

6) 自然保護（12件）

項目	意見・要望
①自然の状態（5件）	・ミヤマシキミ、ハイケイソウの増加が目に残る。
	・西大台も（鹿の被害によるのでしょうか）、植物が少なく、少し残念でした。
	・ナラ枯れによるミズナラの枯死木が多くなっている。
	・川の周辺の水が少なかった。
	・植生保護をする以上、仕方がないですが、ネットがやや景観的に残念には感じます。
②自然保護（5件）	・5～10年入山禁止にして、変化を調査してみたら。
	・なかなか整備しにくいでしょうが、人が通ると必ず荒れていくので、上手に進めてほしい。
	・泥を落とすマットなど環境保全の取り組みがあつて、良かったです。

	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿柵だけでは・・・根本的な解決方法がない。 ・もっとシオカラ谷まで調整地区の範囲を広げてもよいのではないのでしょうか。
③その他（2件）	<ul style="list-style-type: none"> ・車道（ドライブウェイやひどい広報の林道）を造っていて、自然を守ろうは・・・？生業もあるが、悪く言えばヘソが茶を沸かす。 ・来た季節があまり良くなかったのか、余り自然が楽しめなかった。

7) 情報発信（8件）

項目	意見・要望
①PRの充実（3件）	<ul style="list-style-type: none"> ・この自然を守ってほしい。とても良い山域でした。西大台に人工物を増やすと、人気は落ちると思う。もっとPRしてほしい。 ・自然を守るためには、良い制度だと思います。初めてこのような取り組みをされている事を知りました。住んでいる所が東京だからかもしれないが、もっと多くの人に知ってもらった方が良いのではと思いました。 ・目的別のお薦め時期や季節ごとのお薦めポイント情報があるとうれしいです。
②天気や工事等のリアルタイム情報の発信（3件）	<ul style="list-style-type: none"> ・当日朝のお天気をアップしていただければ、尚嬉しく思います。 ・天気が分かれば来やすい。 ・手つかずの自然、美しかった。整然とした自然の美を残して欲しい。大台ヶ原のトンネル工事を予めホームページで知らせて欲しかった。でも総じて大満足の散策でした。ありがとうございました。
③注意事項や心得などの発信（2件）	<ul style="list-style-type: none"> ・火気厳禁なのにバーナーでお湯を沸かしている人がいて、残念でした。 ・この自然が続くように登山者の心得を強く求めて欲しい。

8) その他（15件）

項目	意見・要望
④立入認定証の改善（6件）	<ul style="list-style-type: none"> ・認定証の形状⇒リボンとか。温泉無料券はアンケートと引き換えに、帰りに渡すでも良さそう（なくしてしまいそう）。 ・ネックストラップのひもがすぐ絡まってしまうので、もっとお金をとって良いので、しっかりした紐にしてほしいです。 ・ネックストラップ（立入認定証入れ）のひもがからまり、切れやすそうなので、もっとしっかりしたケースにしてほしい。 ・認定証を首からかけると、ヒラヒラ動いてじゃまだったので、リストバンド等であれば良かったと思います。 ・立入認定証を簡素化しても良いのでは。例えばスマホの画面で足りるのではないかな。 ・立入認定証のひも等、なんとかしてほしい。
②公共交通の改善（3件）	<ul style="list-style-type: none"> ・帰りのバスが4時しかないのが、困りました。 ・もっとじっくり見て歩きたいが、バス便が不便で来るのが難しいのが残念。 ・バスの時間が減ったので、気軽に大台ヶ原に来られないと思いました。ゆっくり日帰りで来られたら、もっと訪れたいです。

項目	意見・要望
③その他（6件）	<ul style="list-style-type: none"> 入山証明のストラップを帰宅後も使えるような、西大台の文字入りにすると、使い捨てストラップのゴミも減る。西大台の記念にもなると思う。その分入山料を数百円（2～300円とか）上がってもよいと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> 苔が美しく歩くのには全く問題ないが、何かちょっと飽きてきている。展望所はほぼ行かなくてよいと思うし、かぼちゃの木もさっぱりだし。苔だけでもっと楽しみたい。
	<ul style="list-style-type: none"> 自然を守る講座を奈良教育大主催で実施するはずだった（7/25, 28）。奈良教育大学は周知が不十分。ビジターセンターで、自然を守るツアー（コケやトウヒを植える活動など）してほしいです。
	<ul style="list-style-type: none"> 公園、ツリーハウス。
	<ul style="list-style-type: none"> マスコットキャラクターなんてどうでしょうか？
	<ul style="list-style-type: none"> すてきな宿泊・ホテルがあれば。

近年の大台ヶ原における適正利用推進上の課題と対応状況

過年度の以下の解析情報や会議結果等より、大台ヶ原における適正利用を推進していく上での課題及び現在の対応状況等を整理した。

- ・西大台利用調整地区の利用者に対する意見聴取の結果
- ・大台ヶ原の利用に関する協議会、大台ヶ原登録ガイド講習会での意見交換会 など

●：重点的に取組を進めている項目（R6年度時点）

区分	課題	対応状況・対応案	
(1)大台ヶ原全体に関する課題	①交通手段	<ul style="list-style-type: none"> ・利用量のコントロールや混雑緩和の観点から公共交通の推奨が必要。 ・一方コロナ等全体の利用者数の減少からバスの減便等が続いている状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの利用者数減少により増便等は難しい状況。引き続き、関係機関と公共交通の利用促進に向けた周知啓発を行う。
		<ul style="list-style-type: none"> ・地域による、大台ヶ原山上と上北山村中心部を結ぶ交通手段の補完 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域バスなど補完的な2次交通導入について地域の検討状況踏まえ必要な支援を行う。
	②路肩駐車に対する対策	<ul style="list-style-type: none"> ・大台ヶ原ドライブウェイにおいて発生している渋滞および路肩駐車に対する対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・現時点では関係機関で連携した交通警備により対応し一定の効果をあげている。 ・引き続き公共交通の利用促進に向けた周知啓発を行う。 ・利用集中期の平準化に向けたコンテンツ造成等を行う。
	③携帯トイレブースの整備	<ul style="list-style-type: none"> ・東大台では周回線上にトイレが無く、一部利用者から整備を求める意見がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東大台では過年度にトイレ整備の調査検討を行ったが、地域の管理体制や整備コスト、環境影響等の観点から実際に整備は実施されていない。 ・当面はビジターセンター等での情報発信を行い事前のトイレ利用を促す形で対応する。 ・西大台では地域団体により携帯トイレブースが設置、運用されている。
④マナー等、利用に関する問題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・たき火行為、夜間の駐車場利用者の増加やゴミのポイ捨てなど、利用マナーの一部悪化に対する対策 ・要救助者の発生 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用マナーの改善に向けて、周知媒体の改善やキャンペーン事業の実施について検討する。 ・HP や山上利用施設等で各登山道の難易度の周知を行い、利用者が適したコース選定ができるよう促す。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・団体観光ツアー時のマナーの低下 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光事業者向けの利用ルール啓発のHP等の整備について検討する。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS等による情報発信の影響による急激な利用者の集中 	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会等の場で、SNS利用に関するルール等について検討し、利用者に対する啓発を図る。 	

区分	課題	対応状況・対応案	
(2)西大台利用調整地区に関する課題	①立入事務手続きの改善	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の利便性向上のため、締切りの延長、悪天候の際の立入日変更などの柔軟な対応について地域から意見が出ている 	<ul style="list-style-type: none"> ・手続のデジタル化を通じて、引き続き立入事務手続きの改善を検討する。
	②事前レクチャーに関する課題	<ul style="list-style-type: none"> ・聴覚障害者等に対応した字幕や、多言語（英語、中国語等）に対応した字幕対応 ・自然環境や歴史に関する説明を充実させること、ビデオではなくスタッフが説明すること、等 	<ul style="list-style-type: none"> ・レクチャー内容更新の際にフル字幕対応等を検討する
		<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインによる受講に関する検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・申請手続きのデジタル化と併せて、将来的なオンライン受講の実現性について検討を行う。
	③現在の歩道以外のコースの検討	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の歩道以外のショートカットコース（西大台）や、滝や産業遺構など魅力的なコースを検討 	<ul style="list-style-type: none"> ●R4 より地域でコースや植生配慮方法、法令調整など運用案の検討を進めている。 ●歩道以外のコース運用のため、利用適正化計画の改訂を行う。
④標識等の整備	以下利用者意見への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ルートが分かりやすくなるよう、標識等を追加・改善すること ・七ツ池や展望台に関する案内板の追加 ・東大台を含め多言語対応がされていない看板が多く存在することへの対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・道迷いの増加等に対して必要な標識等の改善に取り組む。 ※西大台は積極的整備を行わない管理方針に留意し対応。 ・ガイドの同行を推奨する等、ハード整備によらない情報提供強化を図る。 ・解説看板等の多言語対応については施設更新時に対応を行う。 	
(3)大台ヶ原登録ガイド制度の活性化	①登録ガイド付きに限定した新たな利用	<ul style="list-style-type: none"> ・登録ガイド制度の推進のためにより一層のメリット創出が必要である。 ・自然再生事業等の取組結果の還元や質の高い利用の推進の観点から、防鹿柵内への立ち入り等、自然再生の成果を見学できるようにすること 	<ul style="list-style-type: none"> ●登録ガイド限定の利用形態についてR7に試行を行い、本格運用に向けた検討を進める。 ●歩道以外のコース運用のため、利用適正化計画の改訂を行う。
	②事前レクチャーの免除	<ul style="list-style-type: none"> ・登録ガイド帯同時の西大台レクチャー免除などによる手続緩和やガイドメリット創出 	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道外コースの運用検討に合わせて法令や植生影響配慮等の観点からの実現性について検討を行う。
	③登録ガイドを利用しやすくすること	<ul style="list-style-type: none"> ・登録ガイドの受付窓口を一括化すること、登録ガイドの連携による取組、等 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在各ガイドへの個別申込となっているが受付窓口の一括化など事務局機能等について引き続き地域で検討を行う。 ・吉野熊野国立公園や奥大和地域など広域連携（プロモーション、広域コ

区分		課題	対応状況・対応案
			ンテツ造成等) について検討する。
(4)環境教育等	①教育機関との連携	・年間多くの学校からの問合せがあるが必要な情報資材の提供、ガイドとの連携が十分で無い。	●R4 より環境教育資源の整理等を進めており今後、大台ヶ原のホームページを改修し教育機関向けに必要な情報を整理する (R8 公開予定)。
	②研究機関との連携	・年間多くの研究相談があるが過去の調査報告書等が閲覧しづらい状況	●環境省ホームページを改修し、過去の調査報告書等の公開を進める。
	③保全や調査体験活動の提供	・学校など環境意識の高い民間団体等から現地の保全活動に参画意向があるが提供機会が十分でない。	・現在年に1回のイベント又は環境省職員による個別での対応を実施。 ・今後登録ガイド限定プログラム等の検討に合わせて保全体験コンテンツの検討を進める。

令和 6 年度業務実施結果報告 (大台ヶ原の持続可能な利用の推進について)

※資料注釈

大台ヶ原の持続可能な利用の推進に係る取組について、環境省など関係機関の取組を整理した。

(1) 自然環境の適正な保全

<概要>

- 日常的に職員等による巡視やマナー指導を実施した。【環境省、奈良県】
- 登山道や木道などの施設について点検及び破損箇所の修繕等を実施した。【環境省、奈良県】
- 西大台利用調整地区の事前レクチャー実施の際に、利用者の属性調査やニーズの把握のために利用者に対する意見聴取及びその結果分析を実施した。【環境省】
- 西大台において引き続き地域団体により携帯トイレブースが設置された。

→詳細は資料 1 - 2 「西大台利用者に係る意見聴取結果」

(2) 利用の量の適正化

<概要>

- 大台ヶ原の利用状況を継続的に把握するため、利用者数や車両入込数などの利用状況に関する通年の調査と結果整理を実施した。【環境省、奈良県】
- 主にゴールデンウィークと秋の行楽シーズンに発生する交通渋滞について、警備員等を配置した交通誘導を行い対応した。【環境省、奈良県】

→詳細は資料 1 - 1 「利用動向に係る調査結果」

(3) 利用の質の向上

<概要>

- 大台ヶ原パークボランティアによる自然観察会等を数回実施した。また登録ガイドを活用した一般向けイベントを開催し、登録ガイドの利用促進等を進めた。【環境省、上北山村】
- 登録ガイド制度について、新規登録・更新講習会および現地講習会を各 1 回実施した。また登録ガイドとの意見交換会や資料提供を実施した（一部実施予定含む）。【環境省、上北山村】
- 登録ガイドのメリット創出に向けて、自然再生ツアーなど限定プログラム実施に向けた課題整理や次年度以降のスケジュールの確認等を関係機関で行った。【環境省、奈良県、上北山村など】
- 教育機関等における大台ヶ原の教育的利用の促進に向けて、教育資源の整理やプログラム案の作成、ホームページ改修整備の準備等を行った（環境教育の推進）。【環境省】

1) 自然観察会等の実施

大台ヶ原地区パークボランティア(PV)の自然観察会や大台ヶ原自然再生ガイドウォーク(大台ヶ原登録ガイドによる2種類のツアー)等を以下のとおり実施した。

表 1 自然観察会の実施

開催日	イベント	主催・共催	備考
6月9日	定点解説ガイド	大台ヶ原地区 PV 主催	雨天中止
6月29日	大台ヶ原自然再生ガイドウォークに向けた現地勉強会	近畿地方環境事務所、上北山村	
7月21日	自然観察ハイキング	大台ヶ原地区 PV 主催	
8月10-11日	定点解説ガイド	大台ヶ原地区 PV 主催	雨天中止
10月4日	大台ヶ原自然再生ガイドウォーク	近畿地方環境事務所主催 上北山村地域活性化イベント実行委員会共催	雨天中止
10月5日	大台ヶ原自然再生ガイドウォーク	近畿地方環境事務所主催 上北山村地域活性化イベント実行委員会共催	
10月6日	自然観察ハイキング	大台ヶ原地区 PV 主催	
2月16日	冬の大台ヶ原バスツアー	奈良交通・上北山村地域活性化イベント実行委員会主催	



写真 1 自然観察会の様子



写真 2 大台ヶ原ガイドウォーク (西大台)

2) ボランティア活動

大台ヶ原地区パークボランティアでは各個人活動による自然情報収集や清掃活動のほか、年間活動計画に沿って以下の作業等を行った。

①歩道の補修

東大台の正木峠木道階段と日出ヶ岳木道階段のペンキ塗りを実施した。階段の段差の境目が照り返しにより視認しづらくなり、転倒事故が発生する事例が過去にあったため毎年実施している。

②調査研究

NO. 23 防鹿柵内において、針葉樹実生モニタリング調査(平成16年より開始)のタグ交換を実

施した。

③ハルザキヤマガラシの防除

毎年実施しているドライブウェイ 75～95 キロポスト付近の法面に群生しているハルザキヤマガラシ（外来種）の防除作業について、今年度は中止した。下北山村での大規模な土砂崩壊によって通行止めとなり、ゴミ処分場へヤマガラシの運搬ができなかったためである。次年度は実施予定である。

④アメリカオニアザミの防除

ドライブウェイ 140 キロポスト付近の法面に群生しているアメリカオニアザミ（外来種）の防除作業について環境省と合同で実施した。

⑤その他

歩道の清掃（看板清掃、ゴミ拾い、木道に堆積した枯れ葉の除去等）を行った。（春・秋）。新規 PV 養成研修を実施し、10名の登録が完了した。

		
木道のペンキ塗り作業	アメリカオニアザミの防除	新規 PV 養成研修

写真 3 ボランティア等の活動の状況

3) 大台ヶ原登録ガイド制度の運用

① 取組内容

大台ヶ原登録ガイド制度の運用にかかる令和6（2024）年度途中までの取組は、以下の表のとおり実施した。

表 1 令和6年度までの取組内容

区分	事項		実施主体	実施内容	実施年度								備考
	項目	詳細			H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
基本的な作業	広報	ホームページやSNS	上北山村	開設、運用	●	●	●	●	●	●	●	●	運用中。
			環境省	ビジターセンターのSNS ページを運営			●	●	●	●	●	●	令和元年度 facebook、令和4年度 Instagram を開設し情報発信
		チラシ、ポスター	環境省	一般利用者向け、旅行会社向けチラシの作成、配布	●	●	●	●	●	●	●	●	令和2年度から一般利用・旅行会社用チラシ、西大台利用調整地区の英語版チラシ配布開始 令和2年度途中より西大台利用調整地区認定申請者への認定証送付時に登録ガイドのチラシを同封 令和3年度からは西大台のチラシ（西大台登山マップ等）でガイドの同行を推奨する旨を記載
		PR 動画	環境省	一般利用者向け	●	●	●	●	●	●	●	●	令和元年度からYouTube 配信開始 「登録ガイドと一緒に歩こう」「意外と簡単！登録ガイドの頼み方」
		ガイド各自のHP、ブログなど	登録ガイド 上北山村 その他関係者	登録ガイド等による制度の紹介	●	●	●	●	●	●	●	●	登録ガイドや登録ガイド講習会講師、地元自治体などがブログまたは Facebook にて大台ヶ原登録ガイド制度を紹介
		その他	環境省	吉野熊野国立公園としての利用コンテンツの発信資料を作成			●	●	●	●	●	●	●

区分	事項		実施主体	実施内容	実施年度							備考		
	項目	詳細			H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5		R6	
	登録	事務, 登録講習会	環境省 上北山村	登録に関する照会, 申請受付講習会の開催	●	●	●	●	●	●	●	●	令和6年度は7人が登録講習を受講。(新規登録者は3名) 令和2年度にガイドテキストを改訂(情報更新)。	
展開作業	ガイドの活用	ガイドツアー	環境省 上北山村	ガイドツアーの実施	●	●	●		●	●	●	●	令和6年度は2コースのツアーを実施(大台ヶ原ガイドウォーク)	
		登録ガイドによる取組	登録ガイド	HPなどからの申込受付及びツアーの実施	●	●	●	●	●	●	●	●	ガイド講習会等で状況を確認	
		その他	上北山村	大台ヶ原冬期利用に関する調査の実施		●	●	●	●	●	●	●	●	令和6年度は計1日モニターツアーを実施
	ガイド制度の効果検証	登録ガイドのガイド実績把握	環境省	大台ヶ原でのガイド実績について聞き取り等	●	●	●	●				●		令和6年度は調査中断したが、令和7年度は再度実施予定
		登録ガイドへの聞き取り調査	環境省	登録ガイドの料金の開示等		●	●	●					●	令和6年度は調査中断したが、令和7年度は再度実施予定
	登録ガイドのスキルアップ	スキルアップ講習会	環境省 上北山村	勉強会としての講習会実施		●	●		●				●	令和5年度は現地開催せず、環境教育プログラムなどの成果物を共有した

② 登録ガイド講習会（更新）の開催

<開催目的>

大台ヶ原登録ガイド制度は、自然ガイドとして一定の要件を満たした方を登録し、大台ヶ原を訪れる方々に、安全・安心に、より深く自然を楽しんでいただくことを目的としており、その要件として「大台ヶ原登録ガイド登録・更新講習会」を受講していただくこととなっている。

令和6年度「大台ヶ原登録ガイド登録・更新講習会」は、新規登録希望者、ならびに令和6年度末で登録期間満了となる更新登録希望者（令和元年度および令和4年度登録者）を対象に、大台ヶ原登録ガイドとして必要な知識を習得するために開催した。

<主催>

大台ヶ原の利用に関する協議会

<開催日時>

令和6年12月20日（金）9：30～16：30

<開催場所>

橿原市商工経済会館 7階 第3会議室およびオンライン

<講習内容>

受講者の拘束時間の軽減等への配慮から、ガイド新規登録希望者・更新登録希望者向けの「基礎編」（登録希望者は必須）と、ガイドスキル向上のための「実践・応用編」（任意／登録ガイドは誰でも受講可）の2部構成とした。「実践・応用編」では、参加者の主体的な学びや参加者同士の交流を重視し、ワークショップ形式で環境教育等での利用に向けたガイド技術講習を含めた内容とした。

<参加者>

講習会の受講者は、大台ヶ原登録ガイド更新対象者（令和元年度、令和4年度登録者）全8名のうち3名（うちオンライン参加2名）、新規登録者3名であった。



令和6年度 大台ヶ原 登録ガイド講習会

新規登録者も
募集しています

大台ヶ原の自然や
歴史・文化の魅力と
自然再生の取組を
幅広く伝えるために

吉野熊野国立公園大台ヶ原では、訪れる方々に、自然や歴史・文化などを分かりやすく伝え、より深い自然体験を提供することを目的に「大台ヶ原登録ガイド制度」を設けています。

新規登録を希望される方や、令和4年度の登録者(令和6年度末で登録期間満了となります)で更新を希望される方は、本講習会・基礎編の受講が必須要件の一つとなりますので、ぜひご参加ください。
(更新者以外の登録ガイドの方も参加可能です。「大台ヶ原」の最新動向や知見を学びたい方、ガイド同士の交流を希望される方におススメです。)

新規・更新者 参加必須	9:30～13:00 基礎編	任意参加	13:30～16:00 応用・実践編
大台ヶ原の自然と 自然再生事業、歴史 安全管理等		主体的な学びを 促すガイドについて ガイドプランづくり	

2024年
12月20日(金)
9:30～16:00
橿原商工
経済会館
第3会議室

オンライン受講は可能ですが、ワークショップ等も開催するため
可能な限り対面での参加をお願いします

ガイド登録には別途申請が必要です。詳細はウェブサイトをご覧ください

 大台ヶ原登録ガイド

<https://www.vill.kamikitayama.nara.jp/kanko/oodaigaharatourokuguide/index.html>



図1 令和6年度「大台ヶ原登録ガイド登録・更新講習会」チラシ

<プログラム>

講習会のプログラム及び担当講師は下表の通りである。

表 2 登録・更新講習会（基礎編）のプログラム・担当講師

講習内容		講師	時間
基礎編	開会あいさつ・基礎編の流れ説明	安藤氏	9:30～9:35 (5分)
	国立公園制度・登録ガイド制度	平野講師	9:35～10:05 (30分)
	5分休憩		
	大台ヶ原の自然環境と自然再生事業	村上講師	10:10～11:10 (60分)
	5分休憩		
	大台ヶ原の利用の歴史、安全管理	岩本講師	11:15～12:05 (50分)
	5分休憩		
	周辺地域の活性化	神林講師	12:10～12:30 (20分)
	大台ヶ原での近年の取組に関わる報告	安藤氏	12:35～13:00 (25分)



国立公園制度・登録ガイド制度について



大台ヶ原の自然環境と自然再生事業



大台ヶ原の利用の歴史、
大台ヶ原の安全管理



周辺地域の活性化



大台ヶ原での近年の取組に関わる報告

写真 4 登録・更新講習会（基礎編）の様子

表 3 登録・更新講習会（実践・応用編）のプログラム・担当講師

講習内容		講師	時間
実践・応用編	開会あいさつ、実践・応用編の流れ説明	事業者	13:30～13:35 (5分)
	5分休憩		
	主体的な学びを促すガイドについて	大西講師	13:35～14:15 (40分)
	5分休憩		
	ワークショップ・ガイドプランづくり	進行：事務局 大西講師	14:20～15:10 (50分)
	5分休憩		
意見交換会	事業者 環境省	15:15～16:00 (45分)	



主体的な学びを促すガイドについて

ワークショップ・ガイドプランづくり
(プランづくり)ワークショップ・ガイドプランづくり
(発表・意見交流)

意見交換会

写真 5 登録・更新講習会（実践・応用編）の様子

<意見交換会>

意見交換会において、参加者から出された大台ヶ原登録ガイド制度や大台ヶ原の利用に関する課題や意見・要望および回答について、以下に整理した。

○新規登録の理由

- 以前より登録を希望していたが、タイミングが合わず受講ができていなかった。ガイドする機会は大台ヶ原が一番多いので登録しておこうと思った。
- フリーでガイドをやっているが、集客も難しいため、登録ガイドの認定を希望した。登録ガイドとして仕事の紹介があると良い。
- 2年前からガイドを始めた。大台ヶ原はピークハントとは異なるため、歳を取ってもガイドができると思っている。

○講習会の感想

- ワークショップのようなプログラムは良い。
- 講習会も興味深く良かった。もう少し時間が長くて良い。
- 他のガイドがどういうガイドをしているかがわかると良い。大台ヶ原の正確な情報について学べる良い機会となった。

○限定プログラムについて

◆限定プログラムの取組みについて

- 資料を見ると、手続き等に少し手間がかかりそうに感じた。
- 関心があるが、集客はしてもらえるのか。
→集客は各ガイドが行う想定である。R7年度の試行の結果を見ながら検討したい。
- 宿泊を伴うツアーや2回目の利用者をターゲットとすると良いのではないか。

◆研修会の実施時期について

- 8,9,10月は厳しいが告知時期にもよる。早めに告知してもらって各自で調整するしかない。

◆限定プログラムの運用方法について

- 登録ガイドのメーリングリストのようなものができると良い。
- 自分が依頼を受けていて、体調が悪くなってしまった際に対応を相談できるようなガイド同士のネットワークがあると良い。

○登録ガイド制度についての要望等

- 登録の仕組みがわかりにくい。
- 研修の中に救急の実習などを組み込んでもらえると良い。
- ガイド登録に書類の提出や救急救命の受講など制約が多く、なかなか増加しないのではないか。
- 登録ガイドは西大台立入の事前レクチャーを免除して欲しい。
→例年指摘のある事項なので検討はしていきたいと考えている。
- 登録ガイド制度自体の認知が低く、ガイドを頼もうとしない限り見つけられない。
- 上北山村のホームページもなかなか出てこないのももう少しわかりやすくして欲しい。
利用者が登録ガイドへ申し込みするまでのフロー図があると良い。

6) 環境教育利用の推進

大台ヶ原については希少な植生環境が残されているほか自然再生事業の実施地域でもあり教育機関等からの利用需要が大きく、自然再生事業の普及啓発の観点からも推進が求められる。そのため令和3年度から有識者や学校教職員にヒアリングのもと、現在の学習指導要領等も踏まえた大台ヶ原での環境教育プログラムやその情報基盤の整理、関係地域との連携事業を以下のとおり行っている。

① 教育資源などの整理

令和3年度から今年度まで、大台ヶ原における環境教育的利用の促進に必要な各種情報について有識者や学校教員関係者にヒアリングのもと整理を進めた。

<整理項目>

- 現行学習単元と大台ヶ原で体験できる自然との対応関係
- 大台ヶ原での学びのポイント
- モデルコース、フィールドワーク事例、ワークシート
- 安全管理に関わる情報
- 調べ学習等に活用出来る公開資料 など

② ホームページの整備

整理結果をもとに、令和5年度から令和7年度にかけて現行の大台ヶ原ホームページの改修を行い、一般利用者の教育的利用や教育機関による利用を想定して情報基盤の整備を行う（R8公開予定）。

4. フィールドワーク例 ①-1 東大台・日出ヶ岳コース (3時間)

テーマ 大台ヶ原の価値と魅力、課題を発見する。(自由課題設定)

ルート ビジターセンター→上道→日出ヶ岳山頂→正木峠→防鹿柵見学→正木ヶ原→尾鷲辻→中道→ビジターセンター

※現地でご過ごせる時間や参加者の年齢による体力を考慮し、大蛇嵩も行程に入れる。



事前学習

- 既存資料を使って大台ヶ原に関する基礎的な事項についての授業を行う。
- フィールドワークで見たものを整理しておく。

ガイドの役割

- 学校側の希望するテーマに沿った複数のポイントでのガイドを行う。
- 一方的な解説ではなく、発問と生徒同士の意見交換を促す。
- 安全管理を行う。

事後学習

- フィールドワークでの体験をもとにお互いの気づきを共有する。
- 何らかの行動化につなげる。

6

4. フィールドワーク例 ①-1 東大台・日出ヶ岳コース (3時間)

テーマ 大台ヶ原の価値と魅力、課題を発見する。(自由課題設定)

ねらい 大台ヶ原の美しい自然の価値と魅力を感じる。また、先人が行った開山の歴史に触れ、その後のシカの影響や森林の生態系、その保全活動に関わる多くの人たちが継続的に関わっていること、その効果として植生の違いなどを知る。また、大台ヶ原や身近な自然環境のあり方を考え、ガイドとの交流も通じて自分に何ができるかを考える。

学習指導要領との主な関連

中学校：理科【大地の成り立ちと変化】【植物の体の作りと働き】【生命の連続性(生物の種類と多様性と進化)】【生物と環境(自然界のつり合い,自然環境の調査と環境保全,地域の自然災害)】【気象とその変化(霧や雲の発生,自然の恵みと気象災害)】
【自然環境の保全と科学技術の利用】、社会【自然環境】【自然環境を中核とした考察の仕方】【地域の在り方】【身近な地域の歴史】、道徳【自然愛護】【感動,畏敬の念】

高等学校：理科【生物基礎(生物の多様性と生態系)】【生物と環境(生態と環境)】【地学(地球の歴史,大気の大気と構造と変動,地球の大気と海洋)】公民【現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方】【持続可能な社会づくりの主体となる私たち】倫理【自然や科学技術に関わる諸課題と倫理】

学習テーマ

自然：自然への愛着、生態系・生物多様性の理解、野生動物との共生、環境保全と利活用
地球温暖化：温暖化の仕組みと影響
ともに生きる：社会参画

フィールドワークを通じて育てたいESDの価値観

多様性...環境の違いによる植生の違い
相互性...シカの影響と森林生態系の関係について
連携性...継続的に人が関わり続けることで保全活動が少しずつ進んでいる。
責任性...利用のルールをしっかりと守ることで自然環境が保たれること

SDGs関連項目



図2 大台ヶ原で想定される環境教育プログラム例

③（関連）ユネスコエコパークと連携したエクスカージョン事業

大台ヶ原は大台ヶ原・大峯山・大杉谷ユネスコエコパークの核心地域に位置しておりエコパークを活用した広域的な連携も重要となっている。令和4年度には大台ヶ原における環境教育の推進及び当該エコパークの活動活性化を目的に大台ヶ原でのエクスカージョンをユネスコエコパーク協議会と共に実施しており、令和6年度は同様の事業が天川村洞川地区で実施された。



Next Oshigahara, Next Oshigahara, and Oshigahara Biosphere Reserve

大台ヶ原・大峯山・大杉谷ユネスコエコパークを
活かした地域教育を考えるエクスカージョン

令和6年度 奈良県天川村 洞川

2024年
8月5日(月) 10:00~17:00
※雨天決行（荒天の場合は中止します）

参加費
無料

申込締切：7/25

学習指導要領「生きる力」においてESD(持続可能な開発のための教育)は学校教育の要とも言える概念となっています。ユネスコエコパークは「自然と人間社会の共生」を目的としており、その核心地域である吉野熊野国立公園には持続可能な社会について考え・行動を促す教育資源が多く含まれています。本事業では、これらを改めて学び、ユネスコエコパークを活用した特色ある学校教育を推進するとともに、教員同士の交流により当該エリアの教育等を通じた地域間の交流・連携を生み出したいと考えています。

世界遺産「紀伊半島の霊場と参詣道」が世界遺産登録20周年を迎える今年度は「後鬼の里」天川村洞川をフィールドに名水百選の洞川湧水群や龍泉寺、鍾乳洞などを巡り、廃校をリノベーションした「てんかわ天和の里」でワークショップを行い、地域特性を活かした教育について奈良教育大学の学生たちとともに考えていきます。

対象・定員 協議会加盟自治体の教職員等 30名 (各町村5名程度)
集合・解散 天川村立資料館 (奈良県吉野郡天川村洞川674-1)

※送迎を希望される方は、各町村での集合・解散場所を各町村担当課に問合せください。

プログラム案

10:00	現地集合 趣旨説明等
10:30	洞川エリアの散策 (途中昼食休憩)
15:15	意見交換ワークショップ (てんかわ天和の里)
17:00	現地解散

持ち物 雨具 飲み物 筆記用具 昼食(持参の方)

服装 歩きやすい服装 歩きやすい靴 帽子

お申し込み・お問合せは裏面をご覧ください。

主催：大台ヶ原・大峯山・大杉谷ユネスコエコパーク協議会 企画：奈良教育大学 後援：環境省近畿地方環境事務所（予定）

図3 イベントチラシ

(4) 情報提供・発信の強化、その他

<概要>

- 大台ヶ原ビジターセンターを運営し、利用者指導や情報発信等を行った。【環境省、奈良県】
- 大台ヶ原や登録ガイド制度の紹介等について、パンフレットの配布、HP での情報発信を継続して実施した。【環境省、上北山村】

1) 情報提供・発信の強化

ホームページや、ポスター・リーフレット等を活用し情報発信を行った他、以下を実施した。

①情報発信

- ・ 環境省及び上北山村ホームページ、各種パンフレットにおいて、大台ヶ原の基本情報や大台ヶ原登録ガイドの情報について発信を行っている。
- ・ 過年度に日本の国立公園コンテンツ集 2022 に吉野熊野国立公園コンテンツを掲載し、大台ヶ原の利用にむけたコンテンツやアクティビティの情報発信を web で継続している。
- ・ 近畿地方環境省で出展するイベントにて、パンフレット、動画等で情報提供を行った。

【令和6年度年度実施結果】

- 京都御苑での国立公園展でのパンフレット配架（令和6年11月、令和7年2月）
- 無印良品阪急西宮ガーデンズでの国立公園パネル展でのパンフレット配架（令和6年12月）
- そのほか 水都大阪森林の市でのパンフレット配架（令和6年10月）、
モンベル・フレンドフェアでポスター掲出予定（令和7年3月）

- ・ 情報発信体制の強化

近畿地方環境事務所 YouTube を開設。今後こちらに職員実行で情報発信可能となった。

②西大台利用調整地区チラシの英訳チラシ配布

訪日外国人旅行者等に対応するため、西大台利用調整地区チラシ英訳版の配布を実施した。

国立公園にいてみようサイト

ビジターセンターリーフレット

英訳配布実施の西大台チラス

登録ガイド案内チラシ

西大台利用調整地区ガイドブック

近畿地方環境事務所 YouTube チャンネル

写真 6 情報発信例

③SNS 等での発信

大台ヶ原ビジターセンターにおいて Facebook、Instagram（令和 4 年度より運用開始）を活用し、自然情報等の情報発信を行った。

④Youtube の動画配信

吉野熊野国立公園普及啓発動画 2 本を環境省公式動画チャンネルで配信している。

・動画タイトル（URL）：

①吉野熊野国立公園 大台ヶ原 ～登録ガイドと一緒に歩こう～

(<https://www.youtube.com/watch?v=VdpukMs810I>)

②吉野熊野国立公園 大台ヶ原 ～意外と簡単！登録ガイドの頼み方～

(<https://www.youtube.com/watch?v=QcVHMW40eQM>)

・管理者：環境省

・チャンネル登録者数：24,200 人（令和 6 年 2 月時点）

・掲載情報：登録ガイドの活用方法、実際に依頼をする方法について



写真 7 動画配信の例

令和7年度西大台利用調整地区の運用計画

吉野熊野国立公園西大台地区利用適正化計画に基づき立入上限人数など運用計画を以下のとおり定める。

1 利用調整を行う期間

令和7年4月19日（土）から11月30日（日）まで

※当該期間は、県道大台ヶ原公園川上線（大台ヶ原ドライブウェイ）の開通期間であり、開通・閉鎖日は天候等により変更の可能性がある。

2 1日あたりの立入可能な人数の上限

1) 利用集中期の平日 : 50人

2) 利用集中期の土日祝日 : 100人

3) 利用集中期以外の平日 : 30人

4) 利用集中期以外の土日祝日 : 50人

※1団体（2人以上を団体とする）の利用申込みは、代表者を含め最大10人まで

3 利用集中期

過去の台ヶ原の利用実態に基づき、以下の期間を利用集中期として設定する。

1) 春期：令和7年4月19日（土）から6月1日（日）まで

2) 夏期：令和7年8月1日（金）から8月17日（日）まで

3) 秋期：令和7年9月13日（土）から11月3日（月）まで

図1 令和7年度西大台利用調整地区利用調整カレンダー（別紙参考資料）

令和7年度(2025年) 西大台利用調整地区 利用調整カレンダー(案)																											
利用集中期																											
4							5							6							7						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	
14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7
4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	
28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7
4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	
28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7
4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	
28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7
4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	
28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7
4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	
28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7
4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	
28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7
4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	
28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7
4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	
28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7
4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	
28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7
4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	
28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7
4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	
28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7
4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	
28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7
4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	
28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
11	12	13	1																								

4 指定認定機関

上北山村商工会が指定認定機関として、立入認定事務を行う。

令和7年度の立入りにについては、令和7年1月19日（日）から受付を開始。

5 事前レクチャー

実施者：近畿地方環境事務所（請負事業者含む）及び上北山村商工会

実施期間：令和7年4月19日（土）から11月30日（日）まで

実施場所：大台ヶ原ビジターセンターレクチャールーム上北山村商工会

時間割：以下の時間割を予定

<表1 事前レクチャー時間割>

大台ヶ原ビジターセンター		
区分	利用集中期の平日・ 通常期のすべての日	利用集中期の土日祝日
①		7:30～8:00
②	8:30～9:00	8:30～9:00
③	9:30～10:00	9:30～10:00
④	10:30～11:00	10:30～11:00
⑤	11:00～11:30	11:00～11:30
⑥	11:30～12:00	11:30～12:00
⑦	16:00～16:30	16:00～16:30

上北山村商工会	
区分	利用集中期、通常期の平日
①	
②	8:30～9:00
③	9:30～10:00
④	10:30～11:00
⑤	11:30～12:00
⑥	16:00～16:30

大台ヶ原登録ガイド限定プログラム 令和 7 年度（2025 年度）運用計画

0. 運用計画の概要

環境省では、大台ヶ原登録ガイドの活用促進と付加価値の高い利用を図るため、大台ヶ原登録ガイドの帯同を前提とした歩道外や防鹿柵内を案内する限定プログラムを検討しており、令和 7 年度（2025 年度）は、令和 6 年度（2024 年度）に試験実施した 2 つのコース（東大台・西大台で各 1 コース）において、本格運用にむけた大台ヶ原登録ガイドが主催するツアーを試験的に実施する。令和 8 年度（2026 年度）以降の運用計画については、令和 7 年度（2025 年度）の限定プログラムの実施結果を参考に検討する。

運用にあたっては、踏圧による歩道外や防鹿柵内の自然環境への負荷への配慮と、より質の高い自然体験を提供することによる周辺地域の活性化も念頭に置いた大台ヶ原における持続可能な利用形態をつくりあげることを目指し、利用ルールと運用手順等をまとめた運用計画を以下の通り整理した。なお、解説内容については、「大台ヶ原登録ガイド限定プログラム解説資料」にまとめた。

1. 限定プログラムにおける利用ルール*
2. 限定プログラム実施の運用手順等
3. 限定プログラム実施にあたっての配慮事項

本計画については実情に合わせて年度ごとに見直し、適宜修正を加えていくものとする。

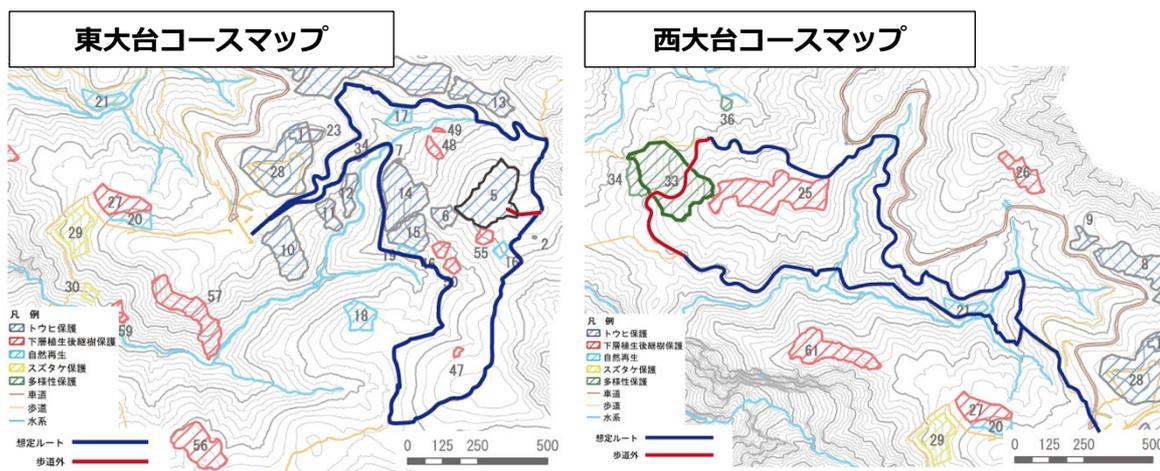
*大台ヶ原における一般的な利用ルールについては、「大台ヶ原登録ガイドテキスト 第 3 章 大台ヶ原における利用ルール」を参照。

1. 限定プログラムにおける利用ルール

① 歩道外の立入許可エリア

令和7年度（2025年度）の歩道外の立入を認めるエリアは、以下の赤色のルートとする。
（赤色が歩道外、青色は想定される歩道ルート）

※歩道外（赤色）以外の歩道ルートはガイドの自由に設定可能。



② 立入り人数の制限

歩道外の立入りにあたっては、踏圧による植生への影響に配慮した人数を以下の通り設定する。

【共通】 1回あたり 6～7名程度（ガイドを含む）
1日あたり 2グループ程度

③ 実施時期

4～6月は展葉期となり踏圧の影響を受けやすい。また、6～7月中旬はトウヒのシュートへの損傷の可能性があるため、令和7年度（2025年度）の実施時期は7月下旬以降とする。

実施時期は7月下旬以降

④ 限定プログラムを実施できるガイドの要件

大台ヶ原登録ガイドのうち、西大台・東大台それぞれの歩道外で実施する研修会へ参加した者とする。（令和7年度は西大台4名、東大台6名（重複あり））

大台ヶ原登録ガイドのうち、各ルートの研修会の参加が要件

⑤ モニタリングの実施

踏圧をはじめ動植物への影響を把握するために、利用者数を記録するとともに、歩道外ルート
の状況について、環境省が利用時期前後の様子を定点撮影するほか、大台ヶ原登録ガイドが
限定プログラム実施時に同地点で撮影する（東大台：2箇所、西大台：3箇所）。また、登録
ガイドがプログラム実施時に見かけた動植物の情報を記録する。

以上について、経年変化を確認していくこととする。

【モニタリング項目】

- ① 利用者数の記録
- ② 環境省による利用時期前後の定点撮影
- ③ 大台ヶ原登録ガイドによる定点撮影（環境省と同地点・角度で撮影）
- ④ 登録ガイドによる見かけた動植物の情報の記録（実施レポート）

2. 限定プログラム実施の運用手順等

① 限定プログラム実施に関わる関係者とその役割

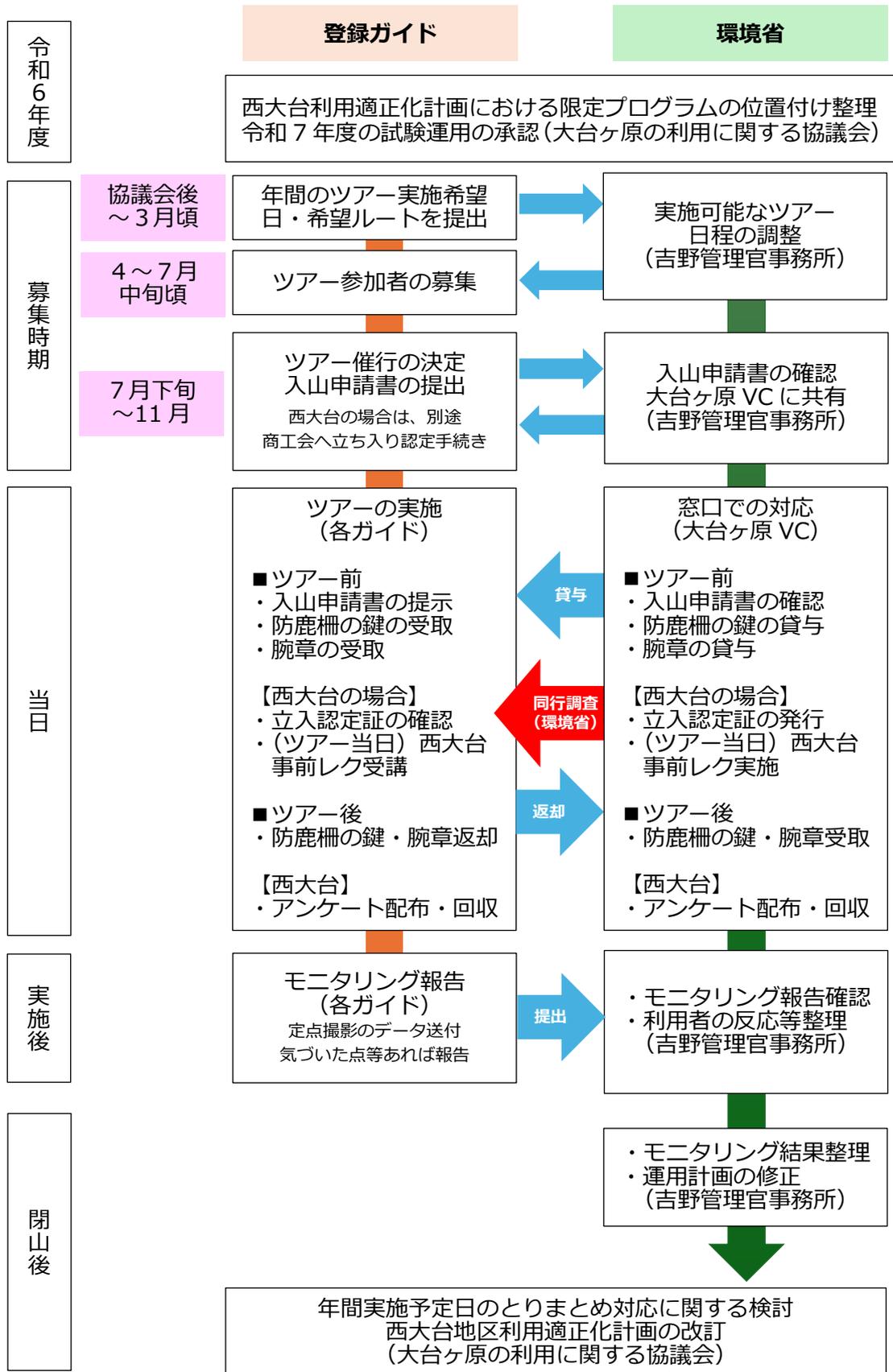
限定プログラム実施にあたり、関係者とその役割について整理する。

環境省（吉野管理官事務所）	限定プログラム実施に係る入山申請対応
大台ヶ原ビジターセンター	プログラム実施に係る現場での対応（鍵の貸与等）
大台ヶ原登録ガイド（個人）	プログラムの実施主体。各自でツアー募集・実施。 年間のツアー実施計画の作成、入山申請
上北山村商工会	西大台の利用調整地区の申請窓口

② 限定プログラムの運用に関する流れ

研修受講済みの登録ガイドと環境省吉野管理官事務所が、個別に日程及び申請手続きにつ
いて調整を行う。ガイドは、各自で料金・ルート等を設定し、ツアー募集・実施を行う。

【令和7年度（2025年度）限定プログラム運用の流れ】



3. 限定プログラム実施にあたっての配慮事項

令和7年度（2025年度）の限定プログラムの実施にあたって、登録ガイドが配慮すべき事項は以下の通りである。

① 入山者の目印

■ 腕章の掲示

- ・歩道外への立ち入りの際は、参加者分も含めて東大台、西大台でそれぞれ異なる色の腕章を貸与します。ザック等の目立つ部分に掲示するようにしてください。

② 西大台ルート－登山道に入る前に

■ 登山靴の洗浄

- ・西大台ルートに入る際は、外来種対策として入口に設置しているトレーで登山靴底を洗浄してから入山してください。（通常の西大台ルートの利用と同様）

③ 東大台ルート・西大台ルート－歩道外へ立ち入る前に

■ 植生保護

- ・植生保護のため普段は入れないエリアに特別に入ること、今回は事前に特別な講習を受けたガイドが案内することを参加者に説明してください。
- ・植生への影響に配慮し、スパイク付き長靴等は禁止、歩道外ではストックの利用は禁止と事前に案内してください。

■ 安全管理

- ・柵内への立入の際には、ササやトゲのある植物等に触って怪我をする可能性もあるため、手袋の着用を勧めてください。
- ・東大台の歩道外は、ササ藪の下に倒木があるため足元に注意するよう説明してください。
- ・シカが多い場所でのササ藪への立入の際にはマダニ対策も周知してください。雨具の着用でも予防につながります。

■ 汚れ

- ・足元の汚れ、濡れが気になる人がいれば歩道外に入る前に雨具等の着用を勧めてください。

■ 写真撮影

- ・柵内を撮影した写真の SNS への投稿自体は問題ないが、通常は立ち入りできない区域のため登録ガイド引率で特別に入ったことを説明に入れるよう協力を依頼してください。

④ 柵内の動き

- ・決められたルートのみ移動し、稚樹・実生・幼木等をできるだけ踏みつけないようにしてください。（東大台ではルート上をミヤコザサが覆っていますが、かき分けて進むことは問題ありません）
- ・倒木や段差がある箇所がありますので、注意喚起をお願いします。

⑤ 案内可能範囲

※下記図で示す赤線のルート

■東大台 No.5 柵内

・扉から入ってロープの右側を歩行。ロープ内は大学の試験地のため立ち入らないようにお願いします。

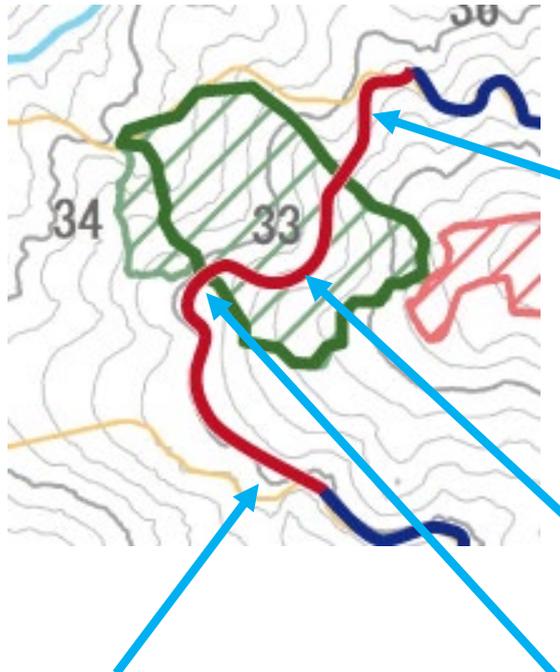
■東大台 No.5 柵から稚樹保護柵へのルート

・稚樹保護柵へは、No.5 防鹿柵から一度木道へ引き返し、解説板横から入ってください。なお、歩道外はササの中に倒木があるため、注意喚起をお願いします。

■西大台 No.33 柵内・木馬道（トロッコ道）

※下記図で示す赤線のルート

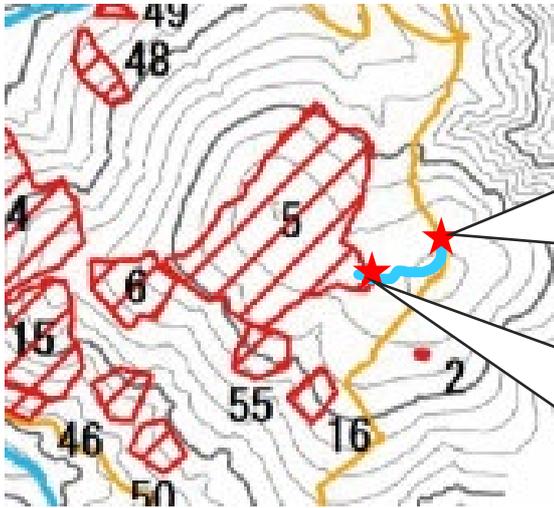
・木馬道沿いを歩行してください。柵内は、トゲのあるイチゴ類の藪を剪定したルートを歩行します。No.33 出口から歩道までは、No.34 柵沿いに歩行したのち、ピンク色のテープを目印に歩いてください。



⑥ 柵内の立入箇所・定点撮影（モニタリング）について

- ・ツアー実施による植生への影響を把握するため、下記の定点での写真撮影をお願いします。
撮影した写真については、後日報告書様式に添付し環境省宛にメールでお送りください。

■ 東大台（No.5 防鹿柵）撮影箇所



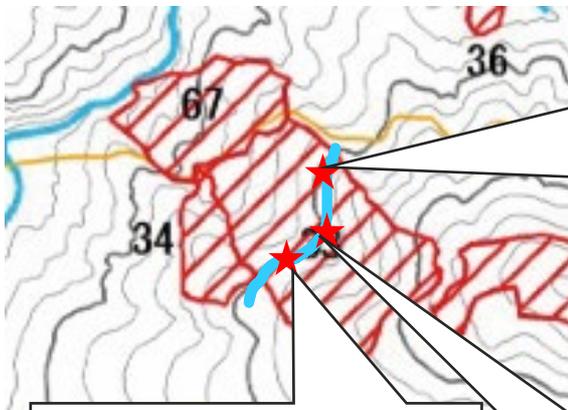
撮影場所 1：正木峠木道から歩道外看板前



撮影場所 2：No5 防鹿柵入口付近



■ 西大台（No.33 防鹿柵）撮影箇所



撮影場所 1：柵入口から 5m



撮影場所 3：防鹿柵出口手前 5m



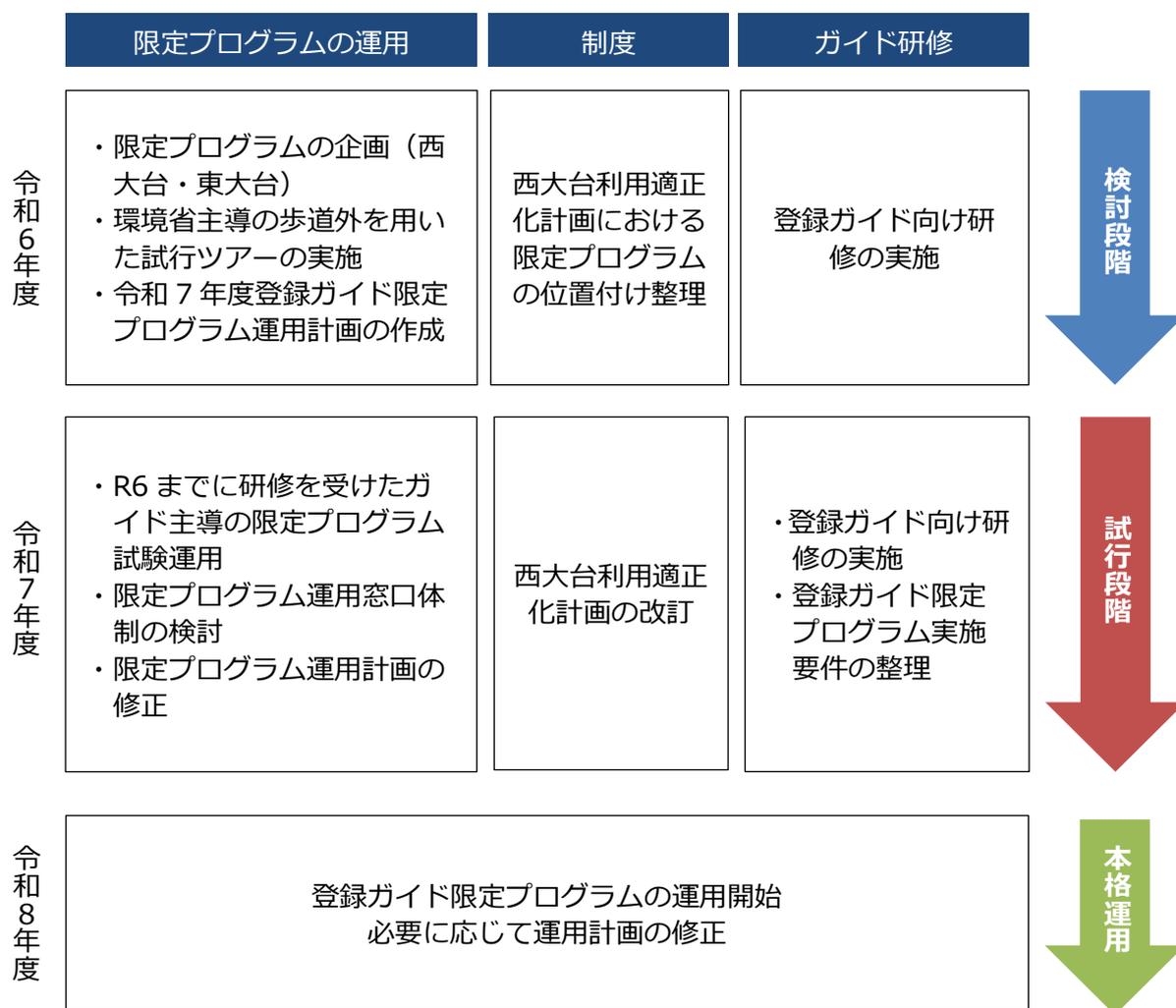
撮影場所 2：ルート中央部



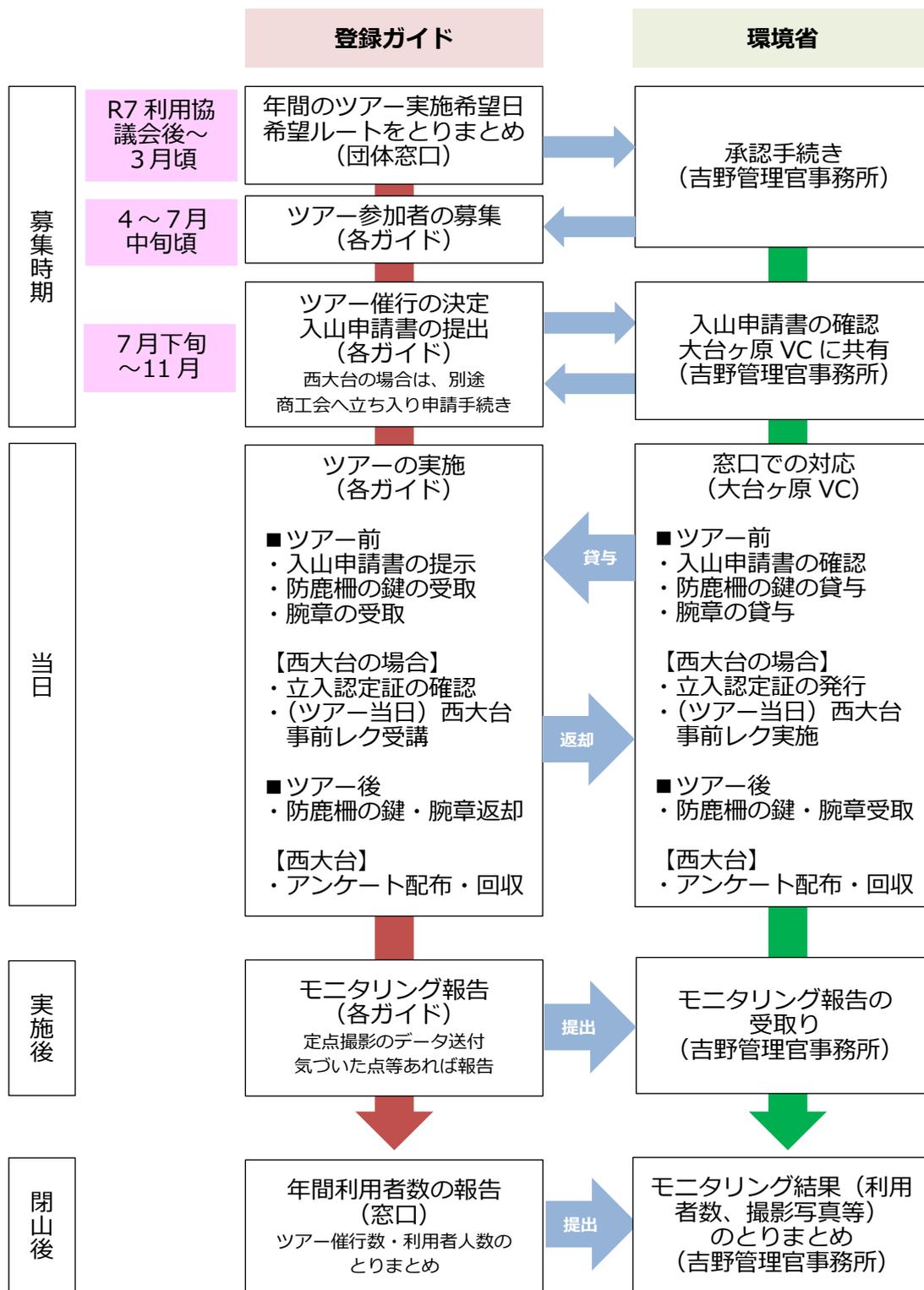
大台ヶ原登録ガイド限定プログラム 本格運用に向けたスケジュール（案）

令和 7 年度（2025 年度）に限定プログラムを試行し、対応したガイドへのヒアリングや、利用者の反応などを踏まえて課題等を検証・整理する。また、西大台においては限定プログラムを運用できるよう、大台ヶ原の利用に関する協議会で「西大台地区利用適正化計画」の利用区域に関する方針について改訂を進め、令和 8 年度（2026 年度）からの本格運用を目指す。

■ 限定プログラムの運用に向けた段階的なスケジュール



【参考：令和 8 年度（2026 年度）以降の限定プログラム運用の流れ】



※募集期間は R7 年度試行状況や登録ガイドをはじめとした関係者ヒアリングをもとに調整

吉野熊野国立公園西大台地区利用適正化計画改訂について（案）

■利用適正化計画とは

利用調整地区を指定し、その利用の適正化を図るにあたって、様々な関係者による合意形成の下で利用の調整等に関する各種事項を定めることにより、公園利用の適正化を円滑に進め、利用調整地区の風致景観を維持し、かつ、より深い自然とのふれあい体験の提供を目的として作成されるもの

■吉野熊野国立公園西大台地区適正化計画

西大台利用調整地区	平成 18 年 12 月指定、平成 19 年 9 月より運用開始
西大台地区利用適正化計画	平成 19 年 策定
	平成 23 年 変更（平成 22 年の自然公園法改正に伴う変更）
	平成 25 年 変更（レクチャー場所の追加、上限人数の検討を年度ごとに変更）

■今回の改訂の概要

- ①前回変更から 10 年以上経過し、大台ヶ原自然再生推進計画 2014 の策定（H26）、大台ヶ原登録ガイド制度の導入（H29）、自然公園法の改正（R3）など西大台地区を取り巻く環境の変化をふまえた全体的な見直し
- ②大台ヶ原登録ガイド帯同の新たな利用（※）の取組推進のための整理
 - ※自然再生事業等の取組結果の周知や、質の高い利用の推進の観点から、歩道外や防鹿柵内への立ち入り等ガイド帯同を条件とした限定プログラムの実施

■今後のスケジュール

令和 7 年 1 月	持続可能な利用の推進WG 吉野熊野国立公園西大台地区適正化計画改訂案内、改訂の方向性確認、意見徴収依頼
2 月	大台ヶ原の利用に関する協議会 吉野熊野国立公園西大台地区適正化計画改訂案内、意見徴収依頼
3 月	改訂（素案）の作成 第 1 回意見徴収 （利用 WG, 大台ヶ原の利用に関する協議会構成員）
令和 7 年 4-5 月	第 1 回意見徴収内容を反映し、改訂（素案）修正
6-7 月	持続可能な利用の推進 WG にて、修正案の検討
9-10 月	改訂（案）作成 第 2 回意見徴収 （大台ヶ原の利用に関する協議会構成員） 第 2 回意見徴収内容を反映し、改訂（案）修正
令和 8 年 1 月	持続可能な利用の推進 WG で改訂（案）の検討
2 月	大台ヶ原の利用に関する協議会で決議 本省へ進達
3 月	運用開始

吉野熊野国立公園西大台地区適正化計画 改訂の方針について

【確認事項】

(1) 改訂の方針

①時点更新

各種調査結果、利用動向、自然公園法の改正

②追加記載

- ・大台ヶ原自然再生推進計画 2014 の策定 (H26) とこれまでの取組
- ・大台ヶ原登録ガイド制度の導入 (H29) とこれまでの取組
- ・登録ガイド帯同による、歩道外の立入りについて

③表現の適正化

重複記載部分の削除、標記の統一、現状に合わせた名称への変更等

(2) 歩道外利用について

公園法、その他計画等で歩道外への立入りが制限されているものはなく、本計画で記載があるのみとなっているため、これの変更を行う。(以下 案)

9. 課題

(4) 利用する区域について

利用調整地区内においては現行の公園計画の歩道を利用することを原則としている。

より深い自然体験のため、上記のガイド付きに限定し、自然ふれあいプログラムとして利用可能な区域等についても検討する。

↓

(変更案)

利用調整地区内においては現行の公園計画の歩道を利用することを原則としている。

一方、より深い自然体験や、自然再生の取組の周知のため、登録ガイド帯同の限定プログラムとして、歩道以外の立入りを検討する。自然環境に配慮した、立入り可能区域や人数・時期等について、モニタリング手法と併せて検討したうえで、実現に向けた支援を継続する。

(3) その他

- ・改訂にあたり考慮すべき点、ポイント

(参考)

■現行 適正化計画内容（目次）

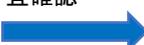
1. 背景
 - 1-1 西大台地区の自然の概況
 - 1-2 西大台地区の利用の状況
 - 1-3 関係法令等の指定及び各種計画の策定状況
 - 1-4 保護及び利用の問題点、課題
2. 利用の適正化を図るための基本方針
 - 2-1 利用適正化計画により達成すべき目標
 - 2-2 地区内での利用のあり方に関する基本方針
 - 2-3 地区内での自然環境の保護及び管理に関する基本方針
 - 2-4 地区内での利用施設の整備及び管理に関する基本方針
3. 利用調整地区の指定に関する事項
 - 3-1 利用調整地区の名称
 - 3-2 利用調整地区の区域
 - 3-3 利用調整の期間
 - 3-4 その他
4. モニタリング、モニタリングの評価及び計画への反映に関する事項
 - 4-1 指標等の設定
 - 4-2 モニタリングの方法
 - 4-3 モニタリングデータの評価
 - 4-4 報告及び公表の方法
5. 立入り認定の手続きに関する事項
 - 5-1 認定基準
 - 5-2 立入認定事務の実施方法
 - 5-3 注意事項（利用ガイドライン）
 - 5-4 利用者の指導
6. 自然ふれあいプログラムの提供等に関する事項
 - 6-1 自然ふれあいプログラムの作成等
 - 6-2 ガイド付き立入の推奨、ガイド人材の育成
7. 自然環境の再生、復元等に関する事項
8. 利用施設の整備及び管理に関する事項
9. 今後の課題

大台ヶ原周回線道路（歩道）の改修整備の今後の進め方について

東大台の大台ヶ原周回線道路（歩道）において、整備後 20 年あまりが経過し老朽化が進んでいる日出ヶ岳～尾鷲辻間の木道等の施設改修を検討しており、令和4年度に施設の現況を調査するとともに、改修の基本設計の検討を行った。

令和6年度は、設置後の沿線の植生回復等に対する整備効果の検証を行い、概ね回復していることが確認できた。また、洗掘の影響が少ない区間は地道に戻して木道区間の短縮化を図るとともに、施設を地形に沿ってコンパクトにする（歩道幅員の削減、施設高の低減）など、自然環境や景観への影響、維持管理費の削減等にも配慮した設計とするために、有識者や関係者を交えた現地検討会を行った。

令和7年度は、現地検討会の結果も踏まえながら、木道撤去と撤去後の洗掘防止対策及び仮歩道の設置に係る実施設計を行う予定である。仮歩道のルート設定及び木道撤去後の洗掘防止対策については、設計案の検討段階で改めて現地検討会を行う予定。改修工事については、令和8年度から既存木道の撤去に着手する計画としている。（図1. 参照。）

項目		R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11 以降
自然再生推進計画	中間評価	中間評価 WG					
	計画見直し	計画策定	次期計画				
整備効果の検証	追加調査・現地検討会	木道周辺の植生被度調査実施 基本設計内容の修正検討(主に木道区間)	仮歩道ルート、木道撤去跡の洗掘対策方針確認				
	効果検証(利用 WG)	植生回復状況					改修内容の適正性を適宜確認 
施設整備	優先改修区間		実施設計(撤去・仮歩道設置を含む)	①工事(撤去・仮歩道設置)	②測量・実施設計	③工事(木道、地道復旧)	
	その他の改修区間						①～③を順次実施 

 : 計画

図 1. スケジュール

・施設現況



図2. 改修整備区間位置図